

平成 28 年度 伴走型小規模事業者支援推進事業

需要動向調査報告書

平成 28 年 12 月
大平町商工会

目次

I. 購買動向	1
1. 栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」について	1
(1) 調査の目的・内容	1
(2) 調査対象世帯の状況	1
2. 購買動向	3
(1-1) 地元購買率	3
(1-2) 地元購買率の推移	5
(1-3) 市町村別・商品別地元購買率	6
(1-4) 地元購買率・流出率	7
(1-5) 地元購買率・吸収率	7
(2) 利用店舗形態	8
(3) 買物理由	11
(4) 利用交通機関	13
(5) 買物頻度	13
(6-1) 商店街・一般商店の利用頻度	14
(6-2) 商店街・一般商店の利用頻度（市町村別）	15
(6-3) 商店街・個人商店の買物理由	16
(6-4) 商店街・個人商店の買物理由（市町村別）	17
(6-5) 商店街・一般商店で買物をしたくなる条件	18
3. 市町村別購買動向	19
(1) 県内購買率占有率	19
(2) 総購買人口等の変化	20
(3) 商圈及び影響圏構成市町村の変化	21
(4-1) 栃木市の購買人口	22
(4-2) 商品別買物地区	23
(4-3) 栃木市の地元購買人口、吸収人口、総購買人口内訳	24
(4-4) 栃木市の商圈等の変化	25
(4-5) 栃木市の商品別商圈等	26
(4-6) 大型店と商圈の関係	27
(4-7) 栃木市の商圈	28
II. 需要動向	29
1. 栃木県商工会連合会による「地域生活者アンケート」の結果	29
(1-1) ライフスタイル・暮らし向きの変化	29
(1-2) 地域商店への満足度	30

(1-3) 地域でよく利用する店・サービス	31
Ⅲ. 大平町地域の買い物について.....	32
1. 大型店出口調査	32
(1) 調査の概要	32
(2) アンケート集計結果.....	33
2. アンケート項目	46
まとめ.....	47

I. 購買動向

1. 栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」について

(1) 調査の目的・内容

栃木県の「地域購買動向調査（『お買い物しらべ』）報告書」は、地域小売商業者の経営の活性化に必要な店づくり、商店街づくり、販売促進等の基礎資料として、また、行政機関、支援機関における支援資料として活用することを目的に、県内消費者の購買行動範囲、利用店舗の形態及び交通方法等を調査したものである。

2014（平成 26）年 7 月 1 日を調査基準日として、栃木県（産業労働観光部経営支援課）が、県内市町立中学校 158 校の第 1 学年在学生の全世帯 17,907 件を対象として実施した。

調査項目は、購買行動の状況（商品別買物場所別の買物割合、店舗形態、買物理由、買物場所別の利用交通機関、買物頻度）のほか、商店街等の利用状況、通信販売等の利用状況である。

この調査は 1973（昭和 48）年に開始され、今回の調査が 15 回目である。2004（平成 16）年の調査以降、市町村合併により 49 市町村から 25 市町になったが、消費者の買物動向を詳細に把握するため、調査は旧 49 市町村単位で実施している。

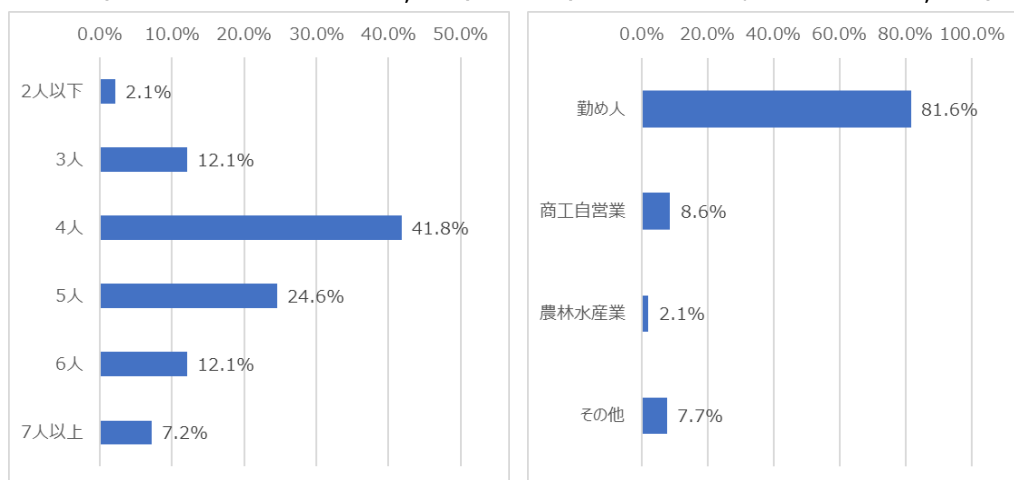
(2) 調査対象世帯の状況

家族数では、4 人が最も多く、次いで 5 人となっている。

世帯主の職業は、勤め人が 81.6%となっている。

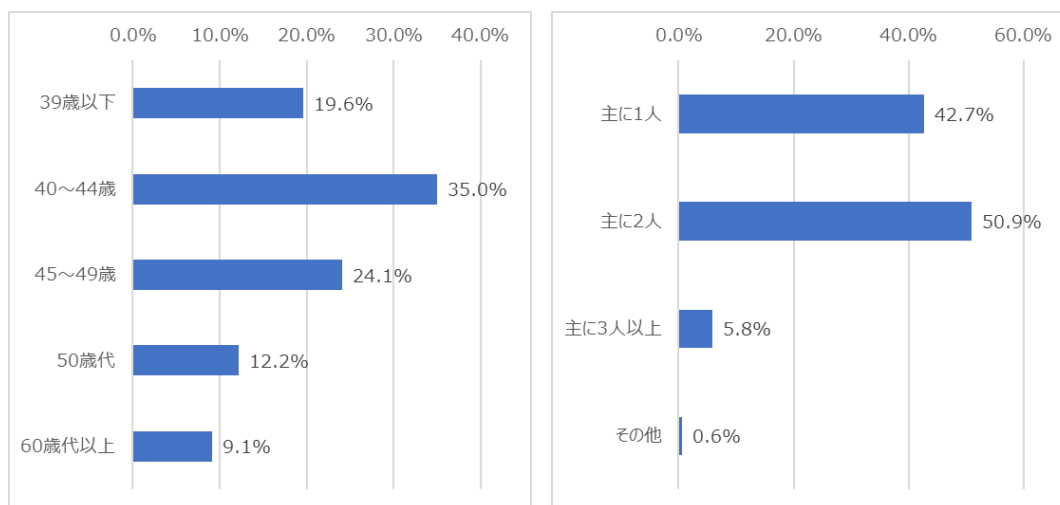
年齢は、40～44 歳が最も多く、次いで 45～49 歳となっている。

図表：（左）家族数の割合（n=12,778）、（右）世帯主の職業割合（n=12,712）



出典：栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」

図表：（左）世帯主の年齢（n=12,735）、（右）所得の担い手の割合（n=12,650）



出典:栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」

2. 購買動向

(1-1) 地元購買率

地元購買率が上昇した市町村は 3 市 10 町 1 村となっており、前回調査（平成 21 年度：3 市 8 町）と比べて、2 町 1 村増加している。

この 14 市町村のうち、6 市町（大平町、芳賀町、益子町、佐野市、西方町、黒磯市）については、前回調査に引き続き、地元購買率が上昇している。

図表：地元購買率の増減幅

	市町村名	前回比 (増減幅)		市町村名	前回比 (増減幅)
1	西那須野町	9.4	26	市貝町	▲ 1.8
2	大平町	7.2	27	南那須町	▲ 1.8
3	芳賀町	4.8	28	都賀町	▲ 1.8
4	国分寺町	4.0	29	小山市	▲ 2.0
5	益子町	3.5	30	喜連川町	▲ 2.2
6	佐野市	2.1	31	塩原町	▲ 2.4
7	日光市	2.0	32	足尾町	▲ 2.6
8	西方町	2.0	33	小川町	▲ 2.7
9	岩舟町	1.8	34	烏山町	▲ 2.7
10	藤原町	1.6	35	葛生町	▲ 3.1
11	栗野町	1.4	36	藤岡町	▲ 3.6
12	黒磯市	0.4	37	今市市	▲ 3.7
13	石橋町	0.4	38	塩谷町	▲ 4.8
14	栗山村	0.3	39	栃木市	▲ 5.0
15	河内町	▲ 0.2	40	足利市	▲ 5.1
16	田沼町	▲ 0.2	41	鹿沼市	▲ 5.2
17	宇都宮市	▲ 0.2	42	上河内町	▲ 5.4
18	壬生町	▲ 0.4	43	黒羽町	▲ 6.0
19	湯津上村	▲ 0.4	44	高根沢町	▲ 6.3
20	馬頭町	▲ 0.6	45	上三川町	▲ 8.2
21	那須町	▲ 1.1	46	茂木町	▲ 10.2
22	野木町	▲ 1.2	47	大田原市	▲ 10.9
23	二宮町	▲ 1.4	48	真岡市	▲ 12.3
24	南河内町	▲ 1.6	49	矢板市	▲ 12.6
25	氏家町	▲ 1.7			

出典:栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書

栃木県の旧市町村別での地元購買率（商品総合）は96.2%となり、前回調査（平成21年度：96.8%）より0.6ポイント低下した。

市町村別の地元購買率は、宇都宮市が97.2%と最も高く、次いで佐野市（89.7%）、小山市（84.6%）、黒磯市（80.7%）となっている。逆に、地元購買率が低い市町村は、栗山村が0.3%と最も低く、次いで湯津上村（0.6%）、塩原町（2.1%）となっている。

大平町は44.4%で、5年前の2009年調査時より7.2ポイント増加している。大型スーパーの進出とともに、大平町居住の中学生の子どもがいる40歳代ファミリーは、買物のおよそ4割を地元の店舗で行っていることが読み取れる。

図表：市町村別地元購買率（購買率の高い順）

（％）				（％）			
市町村名	21年度調査	26年度調査	増減幅 26年度-21年度	市町村名	21年度調査	26年度調査	増減幅 26年度-21年度
栃木県	96.8	96.2	▲ 0.6	26 那須町	18.3	17.2	▲ 1.1
1 宇都宮市	97.4	97.2	▲ 0.2	27 岩舟町	15.3	17.1	▲ 1.8
2 佐野市	87.6	89.7	▲ 2.1	28 粟野町	15.1	16.5	▲ 1.4
3 小山市	86.6	84.6	▲ 2.0	29 上三川町	24.6	16.4	▲ 8.2
4 黒磯市	80.3	80.7	▲ 0.4	30 小川町	17.8	15.1	▲ 2.7
5 足利市	85.0	79.9	▲ 5.1	31 藤岡町	18.4	14.8	▲ 3.6
6 栃木市	80.5	75.5	▲ 5.0	32 馬頭町	15.1	14.5	▲ 0.6
7 大田原市	85.2	74.3	▲ 10.9	33 二宮町	15.2	13.8	▲ 1.4
8 今市市	72.1	68.4	▲ 3.7	34 西方町	11.4	13.4	▲ 2.0
9 真岡市	80.4	68.1	▲ 12.3	35 市貝町	13.6	11.8	▲ 1.8
10 西那須野町	57.3	66.7	▲ 9.4	36 茂木町	21.7	11.5	▲ 10.2
11 鹿沼市	69.4	64.2	▲ 5.2	37 日光市	7.7	9.7	▲ 2.0
12 氏家町	64.6	62.9	▲ 1.7	38 喜連川町	11.6	9.4	▲ 2.2
13 矢板市	69.5	56.9	▲ 12.6	39 南那須町	10.2	8.4	▲ 1.8
14 烏山町	54.9	52.2	▲ 2.7	40 藤原町	5.9	7.5	▲ 1.6
15 大平町	37.2	44.4	▲ 7.2	41 足尾町	9.7	7.1	▲ 2.6
16 南河内町	42.5	40.9	▲ 1.6	42 葛生町	9.9	6.8	▲ 3.1
17 益子町	34.6	38.1	▲ 3.5	43 上河内町	11.4	6.0	▲ 5.4
18 壬生町	37.2	36.8	▲ 0.4	44 都賀町	7.3	5.5	▲ 1.8
19 石橋町	32.4	32.8	▲ 0.4	45 塩谷町	10.0	5.2	▲ 4.8
20 野木町	32.1	30.9	▲ 1.2	46 黒羽町	11.0	5.0	▲ 6.0
21 高根沢町	34.7	28.4	▲ 6.3	47 塩原町	4.5	2.1	▲ 2.4
22 芳賀町	20.7	25.5	▲ 4.8	48 湯津上村	1.0	0.6	▲ 0.4
23 田沼町	23.4	23.2	▲ 0.2	49 栗山村	0.0	0.3	▲ 0.3
24 河内町	19.2	19.0	▲ 0.2				
25 国分寺町	14.7	18.7	▲ 4.0				

※人口加重平均の地元購買率（H21：66.3%、H26：61.3%）

出典：栃木県「平成26年度 地域購買動向調査報告書」

※人口加重平均の地元購買率は、「居住市町村で買物をする人の計」を「県人口」で割ることによって得られる数である。具体的な計算式は以下のとおりである。

$$\text{県全体の地元購買率}[\%] = \sum (\text{各市町村の地元購買率} \times \text{各市町村の人口}) \div \text{県人口} \times 100$$

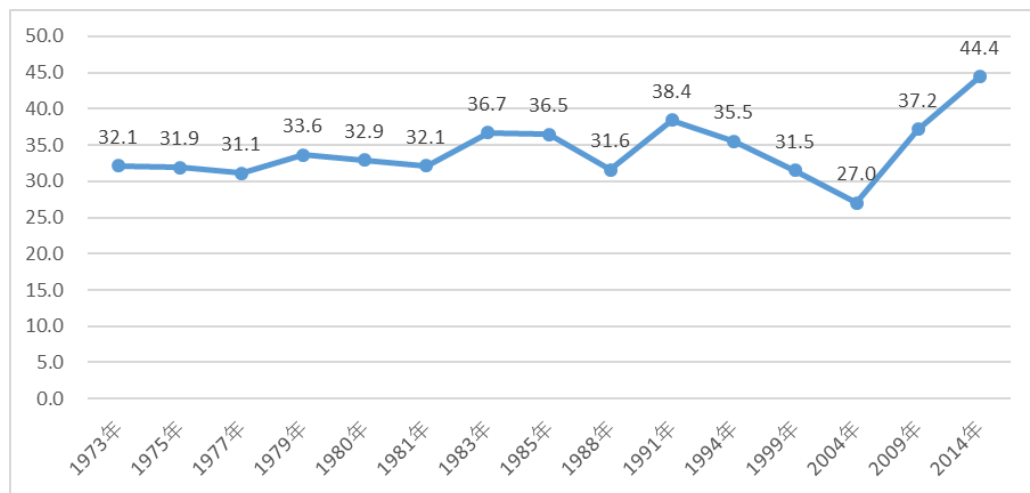
(1-2) 地元購買率の推移

大平町の地元購買率は 30～35%台を上下し、1991 年から 2004 年まで下がり続けていたが、10 年後の 2014 年には 44.4%まで上昇した。

環状道路の拡張や、それに伴う大型スーパーの進出により地元購買率が増加した結果といえる。

図表：大平町の地元購買率の推移（商品総合） （上）表（下）グラフ (%)

	1973年	1975年	1977年	1979年	1980年	1981年	1983年	1985年	1988年	1991年	1994年	1999年	2004年	2009年	2014年
大平町	32.1	31.9	31.1	33.6	32.9	32.1	36.7	36.5	31.6	38.4	35.5	31.5	27.0	37.2	44.4



出典:栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」をもとに作成

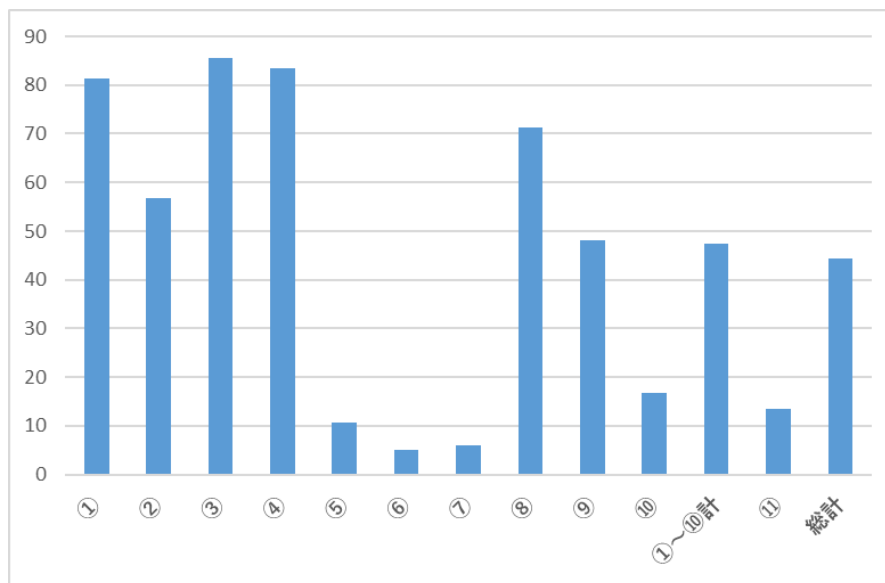
(1-3) 市町村別・商品別地元購買率

大平町の商品別地元購買率をみると、食料品、日用雑貨・台所用品、医薬品・化粧品、書籍・文具の地元購買率は高いが、日用衣料やファッション衣料、装飾品・靴・カバンについてはほとんど購買されていない。

また外食の割合も低く、商圈内の飲食業の伸び悩みが顕著となっている。

図表：大平町の商品別地元購買率 (上) 表 (下) グラフ (％)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	①～⑩計	⑪	総計
大平町	81.3	56.7	85.5	83.5	10.7	5.1	6	71.4	48.1	16.7	47.4	13.5	44.4



出典: 栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」をもとに作成

※調査品目

- ①食料品
- ②家電製品
- ③日用雑貨・台所用品
- ④医薬品・化粧品
- ⑤日用衣料（普段着）
- ⑥ファッション衣料（外出着）
- ⑦装飾品（時計・アクセサリ）・靴・カバン
- ⑧書籍・文具
- ⑨スポーツ用品・玩具・CD/DVD
- ⑩贈答品
- ⑪外食

(1-4) 地元購買率・流出率

大平町の地元購買率・流出率をみると、衣料・装飾品に関しては流出が多くなっている。栃木市内の他、隣接の佐野市にある大型ショッピングモールやその他地域（主に小山市）への流出が窺える。

図表：大平町の地元購買率・流出率

※栃木市内の旧岩舟町・旧都賀町は「その他」地域に含む

	大平町	栃木市内	佐野市	その他
①食料品	81.3	13.0	1.7	4.0
②家電製品	56.7	29.9	2.9	10.5
③日用雑貨・台所用品	85.5	8.7	1.6	4.2
④医薬品・化粧品	83.5	12.1	1.6	2.8
⑤日用衣料（普段着）	10.7	41.2	17.0	31.1
⑥ファッション衣料（外出着）	5.1	32.7	24.4	37.8
⑦装飾品（時計・アクセサリ）・靴・カバン	6.0	30.1	27.3	36.6
⑧書籍・文具	71.4	18.7	4.4	5.5
⑨スポーツ用品・玩具・CD/DVD	48.1	14.9	5.1	31.9
⑩贈答品	16.7	36.8	24.4	22.1
⑪外食	13.5	38.9	18.7	28.9

出典：栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」をもとに作成

(1-5) 地元購買率・吸収率

大平町の地元購買率・吸収率をみると、同県内でも「その他」地域に含まれる岩舟地区・都賀地区からの流入が殆どを占めており、近隣市町村や他県からの流入はほぼ無いといえる。

図表：大平町の地元吸収率

※栃木市内の旧岩舟町・旧都賀町は「その他」地域に含む

	大平町	栃木市内	佐野市	その他
①食料品	81.3	9.0	0.1	9.6
②家電製品	56.7	10.4	0.1	32.8
③日用雑貨・台所用品	85.5	11.7	0.0	2.8
④医薬品・化粧品	83.5	3.2	0.2	13.1
⑤日用衣料（普段着）	10.7	1.9	0.0	87.4
⑥ファッション衣料（外出着）	5.1	0.8	0.0	94.1
⑦装飾品（時計・アクセサリ）・靴・カバン	6.0	0.8	0.0	93.2
⑧書籍・文具	71.4	2.1	0.0	26.5
⑨スポーツ用品・玩具・CD/DVD	48.1	11.8	0.1	40.0
⑩贈答品	16.7	0.5	0.0	82.8
⑪外食	13.5	0.6	0.0	85.9

出典：栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」をもとに作成

(2) 利用店舗形態

店舗形態別の利用状況をみると、居住市町村では、専門チェーン店が 40.4%と最も多く、次いで百貨店・総合スーパー（30.6%）、スーパー（15.3%）となっている。

居住市町村以外では、百貨店・総合スーパーが 46.4%と最も多く、次いで専門チェーン店（35.3%）となっている。

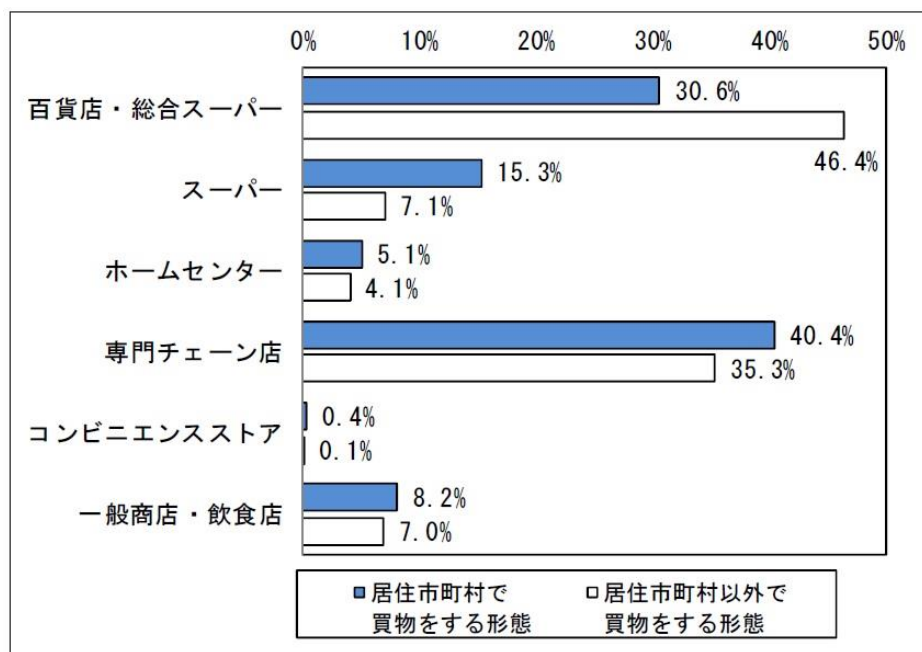
図表：居住市町村で買い物する場合の店舗形態利用状況

店舗形態	最も多く購入する商品・サービス
百貨店・総合スーパー	ファッション衣料（外出着）、装飾品（時計、アクセサリ） 靴・カバン、贈答品
スーパー	食料品
専門チェーン店	家電製品、日用雑貨・台所用品、医薬品・化粧品、日用衣料 （普段着）、書籍・文具、スポーツ用品・玩具・ＣＤ／ＤＶＤ
一般商店・飲食店	外食

図表：居住市町村以外で買い物する場合の店舗形態利用状況

店舗形態	最も多く購入する商品・サービス
百貨店・総合スーパー	食料品、日用衣料（普段着）、ファッション衣料（外出着）、装 飾品（時計、アクセサリ）・靴・カバン、書籍・文具、贈答品
専門チェーン店	家電製品、医薬品・化粧品、スポーツ用品・玩具・ＣＤ／ＤＶＤ
ホームセンター	日用雑貨・台所用品
一般商店・飲食店	外食

図表：居住・非居住別店舗形態別利用状況（11 商品総合）



出典：栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」

図表：居住・非居住別店舗形態別利用状況（商品別）

(%)

		1 1 商品 総合	① 食料 品	② 家電 製品	③ 日用 雑貨・ 台所用 品	④ 医薬品・ 化粧品	⑤ 日用衣料 (普段着)	⑥ ファッション 衣料 (外出着)	⑦ 装飾品(時計、 アクセサリー)・ 靴・カバン	⑧ 書籍・文具	⑨ スポーツ用品・ 玩具・CD/DVD	⑩ 贈答品	⑪ 外食
買物をする形態 居住市町村で	百貨店・総合スーパー	30.6	26.4	4.7	15.9	15.6	45.1	58.4	62.9	33.1	24.8	68.9	6.6
	スーパー	15.3	67.0	1.5	21.1	11.4	5.3	3.7	3.4	5.3	2.1	10.7	0.6
	ホームセンター	5.1	1.6	9.8	28.1	5.4	0.7	0.4	0.9	3.4	1.1	0.6	0.1
	専門チェーン店	40.4	1.6	82.3	34.1	65.4	47.6	36.3	30.7	53.1	65.3	14.5	36.5
	コンビニエンスストア	0.4	1.8	0.1	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.4	0.1	0.3	0.3
	一般商店・飲食店	8.2	1.6	1.6	0.6	1.9	1.2	1.2	2.0	4.6	6.6	5.0	55.8
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
買物をする形態 居住市町村以外で	百貨店・総合スーパー	46.4	47.4	5.7	26.0	32.0	60.8	72.6	76.8	50.7	29.5	85.3	11.6
	スーパー	7.1	44.6	0.8	14.1	8.9	3.3	1.9	1.5	2.9	1.2	3.1	0.4
	ホームセンター	4.1	3.0	7.2	34.3	7.0	0.5	0.2	0.5	2.8	0.8	0.5	0.2
	専門チェーン店	35.3	2.8	85.7	25.0	50.8	34.7	24.5	20.4	41.9	63.7	9.3	40.6
	コンビニエンスストア	0.1	1.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1
	一般商店・飲食店	7.0	1.1	0.5	0.5	1.2	0.7	0.7	0.8	1.6	4.9	1.7	47.1
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※着色は、居住地・非居住地、商品別で、最も多い店舗形態を示す。

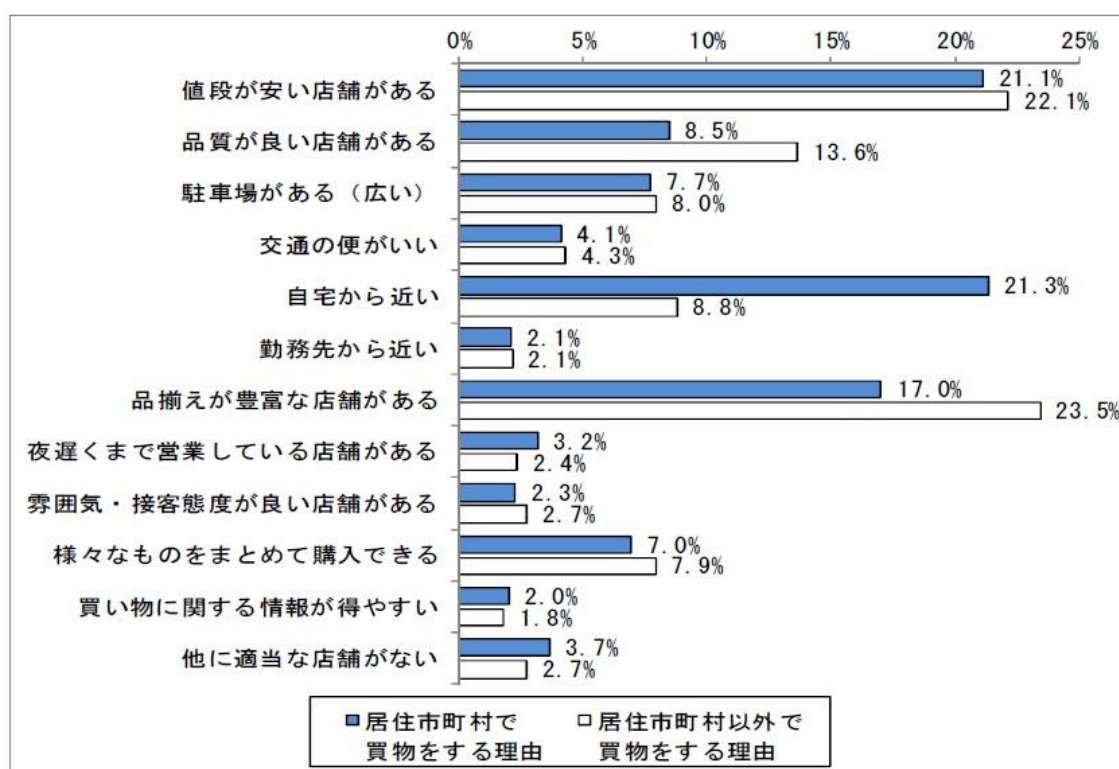
出典：栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」

(3) 買物理由

買物理由をみると、居住市町村では、「自宅から近い」が 21.3%と最も多く、次いで「値段が安い店舗がある」(21.1%)、「品揃えが豊富な店舗がある」(17.0%)となっている。

居住市町村以外では、「品揃えが豊富な店舗がある」が 23.5%と最も多く、次いで「値段が安い店舗がある」(22.1%)、「品質が良い店舗がある」(13.6%)となっている。

図表：居住・非居住別買物理由（11 商品総合）



出典：栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」

図表：居住・非居住別買物理由（商品別）

(%)

		1 商品総合	① 食料品	② 家電製品	③ 日用雑貨・ 台所用品	④ 医薬品・ 化粧品	⑤ 日用衣料 （普段着）	⑥ ファッション衣料 （外出着）	⑦ 装飾品（時計、アクセサリー）・ 靴・カバン	⑧ 書籍・文具	⑨ スポーツ用品・ 玩具・CD/DVD	⑩ 贈答品	⑪ 外食
居住市町村で買物をする理由	値段が安い店舗がある	21.1	17.8	28.0	27.1	24.5	27.6	20.3	18.1	7.9	13.3	9.0	21.1
	品質が良い店舗がある	8.5	8.4	4.0	2.8	3.8	8.2	13.2	14.0	4.4	6.8	18.3	11.7
	駐車場がある(広い)	7.7	7.6	8.0	6.7	5.9	7.3	8.1	7.9	8.6	7.8	7.3	9.3
	交通の便が良い	4.1	3.9	4.0	3.5	3.4	2.8	2.8	2.8	4.1	3.2	2.7	5.4
	自宅から近い	21.3	26.3	20.4	24.4	26.1	17.0	14.2	13.9	24.7	19.4	17.2	22.5
	勤務先から近い	2.1	4.2	0.9	2.5	2.8	1.1	1.0	0.9	1.6	1.1	1.1	0.6
	品揃えが豊富な店舗がある	17.0	10.6	19.2	15.0	15.2	20.5	24.5	26.3	26.5	28.0	26.7	7.3
	夜遅くまで営業している店舗がある	3.2	4.5	1.1	2.4	3.6	1.4	1.4	1.5	6.6	4.1	1.7	4.9
	雰囲気・接客態度が良い店舗がある	2.3	1.0	2.9	0.5	1.2	1.1	1.8	1.9	1.2	1.6	2.1	10.2
	様々なものをまとめて購入できる	7.0	10.1	3.5	10.7	8.6	8.1	7.8	7.3	8.1	6.5	7.2	1.2
	買い物に関する情報が得やすい	2.0	2.2	3.6	1.9	2.3	2.0	2.0	1.9	1.5	2.6	2.0	0.4
	他に適当な店舗がない	3.7	3.4	4.4	2.5	2.6	2.9	2.9	3.5	4.9	5.5	4.7	5.4
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
居住市町村以外で買物をする理由	値段が安い店舗がある	22.1	21.5	30.2	26.7	22.7	22.2	30.9	13.1	8.2	15.2	6.7	20.7
	品質が良い店舗がある	13.6	10.1	4.8	3.5	6.4	12.8	17.9	20.5	7.0	10.5	25.0	14.3
	駐車場がある(広い)	8.0	7.6	7.1	6.7	6.3	6.7	10.1	6.6	8.0	6.3	5.7	9.6
	交通の便が良い	4.3	5.2	5.1	4.5	4.8	3.5	3.4	2.5	5.4	3.8	2.4	7.5
	自宅から近い	8.8	6.2	6.6	8.8	8.1	4.5	16.6	3.3	7.1	4.8	3.9	7.0
	勤務先から近い	2.1	5.7	1.1	4.4	4.8	1.4	2.3	0.7	2.0	1.0	0.9	0.5
	品揃えが豊富な店舗がある	23.5	18.2	27.6	22.1	24.1	30.3	12.2	35.5	35.8	37.1	37.8	12.9
	夜遅くまで営業している店舗がある	2.4	3.7	1.0	2.5	2.9	1.4	0.5	1.3	5.5	2.7	1.5	7.2
	雰囲気・接客態度が良い店舗がある	2.7	1.4	3.5	0.5	2.6	2.0	1.0	2.8	1.6	1.7	1.8	12.6
	様々なものをまとめて購入できる	7.9	16.8	4.6	15.4	12.0	10.5	3.3	8.8	13.3	9.2	8.4	2.0
	買い物に関する情報が得やすい	1.8	1.8	4.1	1.8	2.7	2.3	0.9	2.0	2.1	3.0	2.2	0.6
	他に適当な店舗がない	2.7	1.9	4.2	3.0	2.7	2.4	0.8	2.8	4.1	4.6	3.8	5.1
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※着色は、居住地・非居住地、商品別で、最も多い回答を示す。

出典：栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」

(4) 利用交通機関

図表：居住・非居住別利用交通機関

(%)

	居住市町村で 買物をする場合		居住市町村以外で 買物をする場合	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
自家用車	93.1	92.9	93.3	97.7
徒歩・自転車・バイク	5.4	6.4	0.5	0.8
バス	0.5	0.4	0.3	0.2
鉄道	0.7	0.1	4.2	1.1
その他	0.3	0.2	1.7	0.2
計	100.0	100.0	100.0	100.0

※着色は、居住地・非居住地別で、最も多い利用交通機関を示す。

出典：栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」

(5) 買物頻度

図表：居住・非居住別買物頻度

(%)

	居住市町村で 買物をする場合		居住市町村以外で 買物をする場合	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
ほぼ毎日	16.4	7.7	6.0	1.9
週に 2～3 回程度	21.3	22.1	8.9	7.4
週に 1 回程度	15.5	27.4	12.3	19.0
月に 2～3 回程度	18.1	—	20.4	—
月に 1 回程度	17.3	29.7	26.6	41.5
年に数回	11.3	13.1	25.8	30.1
計	100.0	100.0	100.0	100.0

※着色は、居住地・非居住地別で、最も多い利用頻度を示す。

※「月に2～3回程度」は今回調査から追加した。

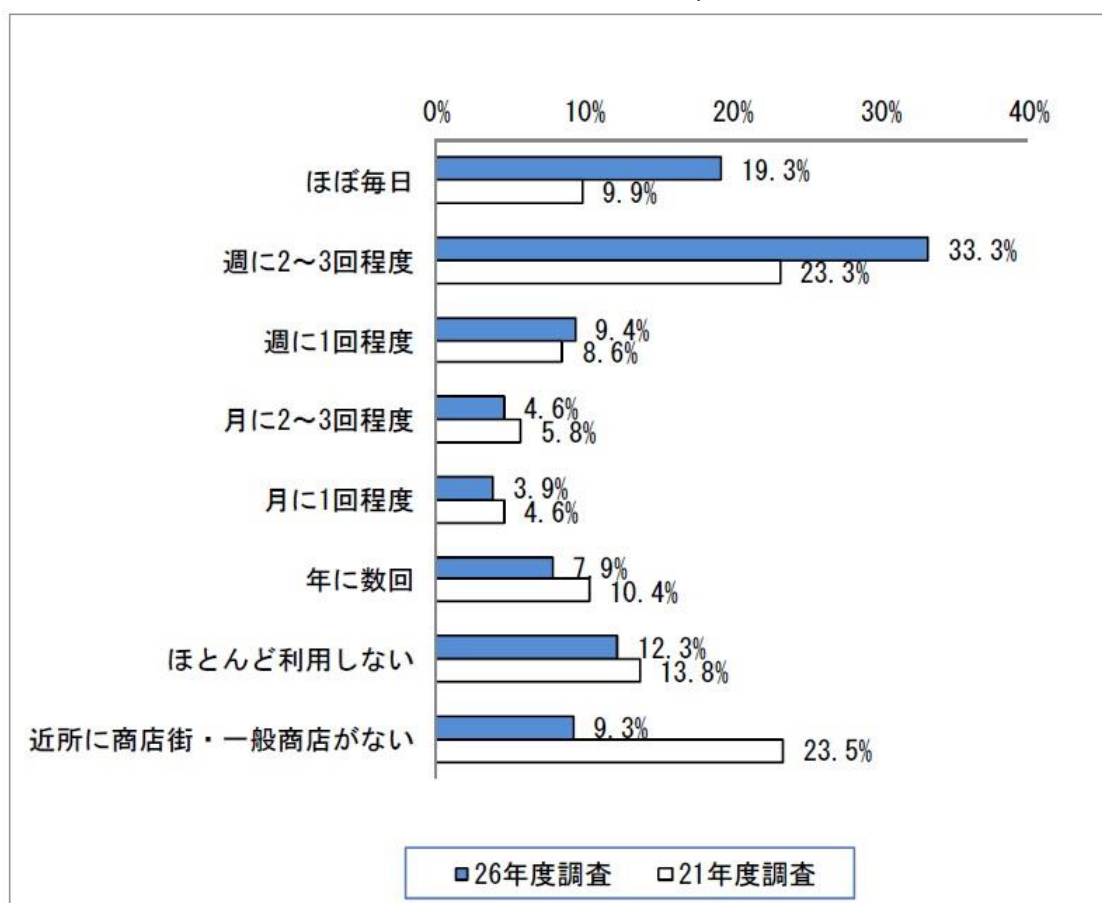
出典：栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」

(6-1) 商店街・一般商店の利用頻度

近くにある商店街・一般商店（商店街や住宅街で店を構える、精肉店、八百屋、飲食店等の個人商店）の利用頻度をみると、「週に 2～3 回程度」が 33.3%と最も多く、次いで「ほぼ毎日」（19.3%）、「ほとんど利用しない」（12.3%）となっている。

2009 年の前回調査と比較すると、「週に 2～3 回程度」が 10.0 ポイント、「ほぼ毎日」が 9.4 ポイントの上昇となった。栃木県全体では、「近所に商店街・一般商店がない」が、14.2 ポイント低下している。

図表：近くにある商店街等の利用頻度（全体）（n=12,674）



出典：栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」

(6-2) 商店街・一般商店の利用頻度（市町村別）

図表：近くにある商店街・一般商店の利用頻度 (%)

（調査数220）	大平町
ほぼ毎日	18.6
週に2～3回程度	39.1
週に1回程度	9.5
月に2～3回程度	2.7
月に1回程度	0.5
年に数回	5.9
ほとんど利用しない	13.6
近くに商店街・一般商店がない	10.0

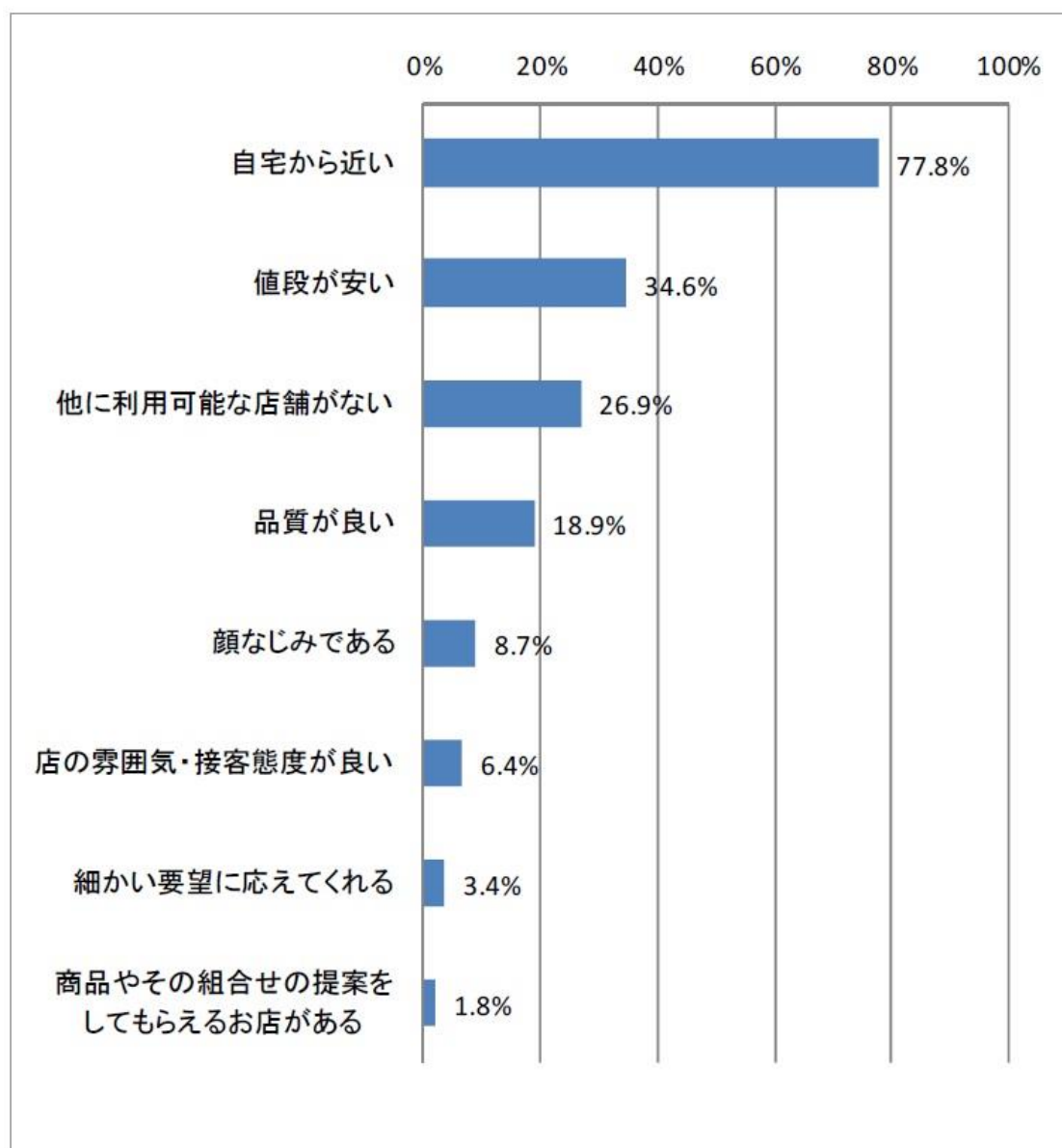
出典:栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」をもとに作成

(6-3) 商店街・個人商店の買物理由

近くの商店街・一般商店で買物をする理由をみると、「自宅から近い」が 77.8%と最も多く、次いで「値段が安い」(34.6%)、「他に利用可能な店舗がない」(26.9%)となっている。

一方、「店の雰囲気・接客態度が良い」(6.4%)、「細かい要望に応じてくれる」(3.4%)、「商品やその組み合わせの提案をしてもらえるお店がある」(1.8%) など、本来であれば商店街や一般商店の強みとなり得る項目が低率となっている。

図表：近くの商店街・一般商店で買物をする理由（全体）（n=11,090、2 つまで選択）



出典：栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」

(6-4) 商店街・個人商店の買物理由（市町村別）

図表：近くにある商店街・一般商店で買物する理由

(%)

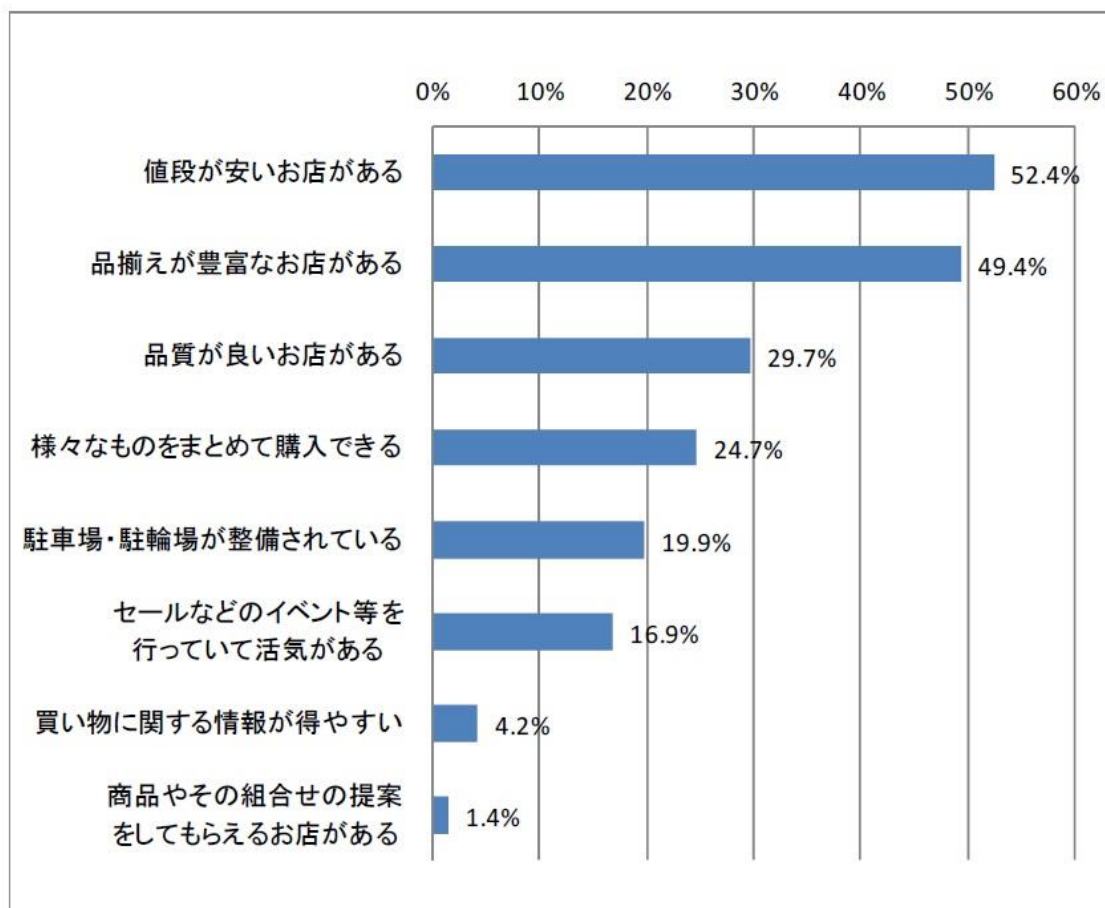
(調査数212)	大平町
値段が安い	50.9
品質が良い	29.7
商品やその組合せの提案をしてもらえるお店がある	50.5
店の雰囲気・接客態度が良い	0.9
顔なじみである	15.6
自宅から近い	22.2
細かい要望に応じてくれる	23.1
他に利用可能な店舗がない	7.1

出典:栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」をもとに作成

(6-5) 商店街・一般商店で買物をしたくなる条件

近くの商店街・一般商店で買物をしたくなる条件をみると、「値段が安いお店がある」が 52.4%で最も多く、次いで「品揃えが豊富なお店がある」(49.4%)、「品質が良いお店がある」(29.7%)となっている。

図表：近くの商店街・一般商店で買物をしたくなる条件（全体）（n=12,173、2 つまで選択）



出典：栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」

3. 市町村別購買動向

(1) 県内購買率占有率

図表：県内購買率占有率（11 商品総合）

	地元 購買率	吸収率	合計	県全体の購買率 に占める比率
1.宇都宮市	97.2	1,024.2	1,121.4	22.9
2.足利市	79.9	21.4	101.4	2.1
3.栃木市	75.5	200.6	276.1	5.6
4.佐野市	89.7	241.5	331.2	6.8
5.鹿沼市	64.2	52.8	117.0	2.4
6.日光市	9.7	9.4	19.0	0.4
7.今市市	68.4	299.8	368.2	7.5
8.小山市	84.6	130.2	214.8	4.4
9.真岡市	68.1	113.2	181.3	3.7
10.大田原市	74.3	279.0	353.3	7.2
11.矢板市	56.9	43.4	100.4	2.0
12.黒磯市	80.7	102.1	182.8	3.7
13.氏家町	62.9	183.0	245.9	5.0
14.西那須野町	66.7	120.2	186.9	3.8

出典：栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」

※調査内容は、12 市に県全体の購買率に占める当該市町村の購買率（地元購買率と吸収率の和）が 3.0%以上となる 2 町（氏家町、西那須野町）を加えた計 14 市町についての分析結果である。

(2) 総購買人口等の変化

図表：総購買人口等の変化（11 商品総合）

(%、人)

	人口	地元 購買率	地元 購買人口	吸収人口	総購買人口			流出人口
					今回	前回	増減	
1.宇都宮市	473,962	97.2	460,459	269,136	729,595	686,348	43,247	13,505
2.足利市	153,476	79.9	122,666	6,588	129,254	143,119	▲ 13,865	30,811
3.栃木市	80,077	75.5	60,448	32,713	93,161	103,261	▲ 10,100	19,629
4.佐野市	84,307	89.7	75,625	57,569	133,194	126,140	7,054	8,684
5.鹿沼市	91,901	64.2	59,013	8,575	67,588	75,955	▲ 8,367	32,886
6.日光市	13,972	9.7	1,350	556	1,906	1,517	389	12,623
7.今市市	60,635	68.4	41,462	23,003	64,465	71,393	▲ 6,928	19,173
8.小山市	165,641	84.6	140,157	33,147	173,304	171,328	1,976	25,487
9.真岡市	65,437	68.1	44,541	22,293	66,834	86,913	▲ 20,079	20,894
10.大田原市	55,606	74.3	41,326	38,083	79,409	97,569	▲ 18,160	14,281
11.矢板市	34,186	56.9	19,468	5,771	25,239	33,412	▲ 8,173	14,720
12.黒磯市	62,131	80.7	50,148	25,053	75,201	72,216	2,985	11,983
13.氏家町	33,473	62.9	21,048	27,771	48,819	41,953	6,866	12,427
14.西那須野町	48,707	66.7	32,504	21,509	54,013	36,041	17,972	16,203

出典：栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」

(3) 商圈及び影響圏構成市町村の変化

栃木市の商圈は、2009（平成 21）年前回調査の 1 町から減少し 0 市町、影響圏も同じく 1 町減少し、4 町となっている。

図表：商圈及び影響圏構成市町村の変化

	商圈					影響圏	
	第1次商圈	第2次商圈	第3次商圈	合計	増減	数	増減
1.宇都宮市	13 (11)	9 (6)	7 (12)	29 (29)	0	16 (14)	2
2.足利市	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	▲ 1	3 (2)	1
3.栃木市	2 (3)	2 (1)	1 (2)	5 (6)	▲ 1	4 (5)	▲ 1
4.佐野市	4 (4)	0 (0)	1 (0)	5 (4)	1	6 (6)	0
5.鹿沼市	1 (1)	0 (0)	0 (1)	1 (2)	▲ 1	5 (4)	1
6.日光市	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0	2 (1)	1
7.今市市	4 (4)	0 (0)	1 (1)	5 (5)	0	1 (1)	0
8.小山市	1 (1)	1 (1)	2 (2)	4 (4)	0	10 (8)	2
9.真岡市	1 (2)	1 (1)	2 (3)	4 (6)	▲ 2	3 (2)	1
10.大田原市	4 (4)	0 (2)	3 (2)	7 (8)	▲ 1	5 (5)	0
11.矢板市	0 (1)	1 (0)	0 (1)	1 (2)	▲ 1	3 (3)	0
12.黒磯市	1 (1)	0 (0)	2 (2)	3 (3)	0	6 (4)	2
13.氏家町	2 (2)	2 (1)	2 (1)	6 (4)	2	4 (6)	▲ 2
14.西那須野町	1 (1)	0 (0)	2 (0)	3 (1)	2	8 (5)	3

※()内は前回

出典:栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」

(4-1) 栃木市の購買人口

栃木市の人口は 80,077 人で、前回調査から▲1,030 人となっている。

地元購買人口は 60,448 人、吸収人口は 32,713 人であり、総購買人口は 93,161 人となっている。総購買人口は前回調査から▲10,100 人となっている。流出人口は 19,629 人で、3,853 人増加している。

図表：栃木市の地元購買人口、吸収人口、総購買人口

(人)

		今回	前回	差引
①地元購買人口		60,448	65,330	▲ 4,882
②吸収人口		32,713	37,931	▲ 5,218
商 圏	第1次商圈	12,608	13,252	▲ 644
	第2次商圈	9,442	12,699	▲ 3,257
	第3次商圈	4,450	4,939	▲ 489
	影響圏	3,810	4,549	▲ 739
	その他の地域	2,403	2,492	▲ 89
総購買人口(①+②)		93,161	103,261	▲ 10,100

出典：栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」

図表：栃木市の流出人口の内訳

(人)

	今回	前回	差引
県内流出	18,893	15,239	3,654
県外流出	736	537	199
合計	19,629	15,776	3,853

(4-2) 商品別買物地区

栃木市居住者の商品別買物地区をみると、「②家電製品」、「⑨スポーツ用品・玩具・CD/DVD」、「⑪外食」で構成市町村数が多く、主に都賀町、西方町、大平町、栗野町等で商圈を構成している。

吸収人口でみると、「②家電製品」が 46,590 人で最も多く、次いで「⑪外食」(40,945 人)、「⑤日用衣料(普段着)」(38,873 人)となっている。

図表：栃木市居住者の商品別買物地区

	地元購買率	1	2	3
①食料品	84.0%	栃木市・旧栃木市中心部(35.3%)	栃木市・環状線周辺(北部)(26.0%)	栃木市・旧栃木市その他(16.4%)
②家電製品	82.0%	栃木市・環状線周辺(北部)(53.5%)	栃木市・旧栃木市中心部(18.4%)	大平町・県道11号線(バイパス)周辺(9.5%)
③日用雑貨・台所用品	83.6%	栃木市・環状線周辺(北部)(39.6%)	栃木市・旧栃木市中心部(24.6%)	大平町・県道11号線(バイパス)周辺(10.9%)
④医薬品・化粧品	92.8%	栃木市・環状線周辺(北部)(47.1%)	栃木市・旧栃木市中心部(27.0%)	栃木市・旧栃木市その他(11.0%)
⑤日用衣料	73.1%	栃木市・環状線周辺(北部)(38.8%)	栃木市・旧栃木市中心部(19.2%)	栃木市・環状線周辺(西部)(11.4%)
⑥ファッション衣料	50.2%	栃木市・環状線周辺(北部)(27.3%)	栃木市・旧栃木市中心部(13.5%)	栃木市・環状線周辺(西部)(6.7%)
⑦装飾品・靴・カバン	52.3%	栃木市・環状線周辺(北部)(32.2%)	栃木市・旧栃木市中心部(13.4%)	栃木市・環状線周辺(西部)(4.9%)
⑧書籍・文具	91.3%	栃木市・環状線周辺(北部)(35.3%)	栃木市・旧栃木市中心部(27.3%)	栃木市・旧栃木市その他(20.6%)
⑨スポーツ用品・玩具・CD/DVD	60.2%	栃木市・環状線周辺(北部)(21.3%)	栃木市・旧栃木市中心部(20.4%)	栃木市・旧栃木市その他(13.8%)
⑩贈答品	74.1%	栃木市・環状線周辺(北部)(42.5%)	栃木市・旧栃木市中心部(23.5%)	栃木市・旧栃木市その他(4.1%)
⑪外食	79.6%	栃木市・環状線周辺(北部)(29.6%)	栃木市・旧栃木市中心部(27.6%)	栃木市・旧栃木市その他(14.3%)

※着色は、地元以外の買物地区を示す。

出典：栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」

(4-3) 栃木市の地元購買人口、吸収人口、総購買人口内訳

図表：栃木市の地元購買人口、吸収人口、総購買人口内訳（11 商品総合）

区分		市町村	今回			前回			差引 (A)-(B)
			人口	地元購買率 又は 吸収率	地元購買人口 又は 吸収人口 (A)	人口	地元購買率 又は 吸収率	地元購買人口 又は 吸収人口 (B)	
居住市町村		栃木市	80,077	75.5	60,448	81,107	80.5	65,330	▲ 4,882
第1次商圏	吸収率 30%以上	都賀町	13,254	69.4	9,193	13,438	73.0	9,805	▲ 612
		西方町	6,512	52.4	3,415	6,828	50.5	3,447	▲ 32
		計	19,766	63.8	12,608	20,266	65.4	13,252	▲ 644
第2次商圏	吸収率 20%以上 30%未満	大平町	29,977	25.1	7,514	29,204	36.1	10,543	▲ 3,029
		粟野町	9,145	21.1	1,928	9,921	21.7	2,156	▲ 228
		計	39,122	24.1	9,442	39,125	32.5	12,699	▲ 3,257
第3次商圏	吸収率 10%以上 20%未満	壬生町	39,968	11.1	4,450	39,592	12.5	4,939	▲ 489
		計	39,968	11.1	4,450	39,592	12.5	4,939	▲ 489
影響圏	吸収率 1%以上 10%未満	岩舟町	17,848	8.7	1,545	18,512	15.5	2,866	▲ 1,321
		藤岡町	16,590	5.8	966	17,712	2.0	350	616
		葛生町	10,230	2.4	248	11,205	3.1	348	▲ 100
		鹿沼市	91,901	1.1	1,051	93,362	1.1	985	66
		計	136,569	2.8	3,810	140,791	3.2	4,549	▲ 739
その他の 地域	1%未満 (0%除く)	小山市	165,641	0.9	1,550	158,894	0.9	1,370	180
		国分寺町	18,589	0.8	156	17,997	1.6	284	▲ 128
		南河内町	20,379	0.5	97	20,782	0.6	117	▲ 20
		田沼町	27,808	0.3	92	28,544	1.2	341	▲ 249
		塩谷町	12,313	0.2	26	13,340	0.0	0	26
		上三川町	31,371	0.2	64	31,643	0.0	4	60
		石橋町	21,215	0.2	35	20,943	0.2	50	▲ 15
		佐野市	84,307	0.1	112	83,427	0.1	74	38
		烏山町	16,867	0.1	21	17,945	0.0	2	19
		宇都宮市	473,962	0.0	208	460,637	0.0	157	51
		真岡市	65,437	0.0	28	63,498	0.0	17	11
		足利市	153,476	0.0	14	155,835	0.0	76	▲ 62
		計	1,091,365	0.2	2,403	1,073,485	0.2	2,492	▲ 89
合計		1,406,867	6.6	93,161	1,394,366	7.4	103,261	▲ 10,100	

出典：栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」

(4-4) 栃木市の商圈等の変化

栃木市の商圈は、前回の 6 町から 1 町減少し、5 町で構成されている。

- ・第 1 次商圈は、2 町（都賀町、西方町）で構成されている。
- ・第 2 次商圈は、2 町（大平町、栗野町）で構成され、前回、第 1 次商圈を構成していた大平町が第 2 次商圈へ移行している。
- ・第 3 次商圈は、1 町（壬生町）で構成されている。
- ・影響圏は、1 市 3 町（岩舟町、藤岡町、葛生町、鹿沼市）で構成され、前回、第 3 次商圈を構成していた岩舟町が影響圏へ移行している。

図表：栃木市の商圈等の変化（11 商品総合）

区分		市町村	今回 吸収率 (A)	前回 吸収率 (B)	差引 (A)-(B)	商圈等の変化
居住市町村		栃木市	75.5	80.5	▲ 5.1	—
第1次商圈	吸収率 30%以上	都賀町	69.4	73.0	▲ 3.6	—
		西方町	52.4	50.5	2.0	—
第2次商圈	吸収率 20%以上 30%未満	大平町	25.1	36.1	▲ 11.0	縮小(第1次商圈→第2次商圈)
		栗野町	21.1	21.7	▲ 0.6	—
第3次商圈	吸収率 10%以上 20%未満	壬生町	11.1	12.5	▲ 1.3	—
影響圏	吸収率 1%以上 10%未満	岩舟町	8.7	15.5	▲ 6.8	縮小(第3次商圈→影響圏)
		藤岡町	5.8	2.0	3.8	—
		葛生町	2.4	3.1	▲ 0.7	—
		鹿沼市	1.1	1.1	0.1	—
その他の 地域	1%未満 (0%除く)	小山市	0.9	0.9	0.1	—
		国分寺町	0.8	1.6	▲ 0.7	縮小(影響圏→圏外)
		南河内町	0.5	0.6	▲ 0.1	—
		田沼町	0.3	1.2	▲ 0.9	縮小(影響圏→圏外)
		塩谷町	0.2	0.0	0.2	—
		上三川町	0.2	0.0	0.2	—
		石橋町	0.2	0.2	▲ 0.1	—
		佐野市	0.1	0.1	0.0	—
		烏山町	0.1	0.0	0.1	—
		宇都宮市	0.0	0.0	0.0	—
		真岡市	0.0	0.0	0.0	—
		足利市	0.0	0.0	▲ 0.0	—
地元購買率＋吸収率			276.1	300.6	▲ 24.4	
県全体に占める割合(%)			5.6	6.1	▲ 0.5	

出典：栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」

(4-5) 栃木市の商品別商圏等

図表：栃木市の商品別商圏等（1）

区分	11商品総合		①食料品		②家電製品		③日用雑貨・ 台所用品		④医薬品・ 化粧品		⑤日用衣料 （普段着）	
	市町村	地元 購買率 又は 吸収率	市町村	地元 購買率 又は 吸収率	市町村	地元 購買率 又は 吸収率	市町村	地元 購買率 又は 吸収率	市町村	地元 購買率 又は 吸収率	市町村	地元 購買率 又は 吸収率
居住地	栃木市	75.5	栃木市	84.0	栃木市	82.0	栃木市	83.6	栃木市	92.8	栃木市	73.1
第1次商圏 吸収率 30%以上	都賀町	69.4	都賀町	56.4	都賀町	85.5	都賀町	71.6	都賀町	84.3	都賀町	74.3
	西方町	52.4			西方町	63.1	西方町	51.1	西方町	58.1	西方町	50.6
					栗野町	32.8					大平町	41.2
											栗野町	32.3
第2次商圏 吸収率 20%以上 30%未満	大平町	25.1	西方町	26.1	大平町	29.9						
	栗野町	21.1			壬生町	25.5						
					岩舟町	21.6						
第3次商圏 吸収率 10%以上 20%未満	壬生町	11.1	栗野町	13.8			栗野町	14.3	栗野町	16.2	壬生町	10.5
			大平町	13.0					大平町	12.1		
影響圏 吸収率 1%以上 10%未満	岩舟町	8.7	壬生町	6.3	藤岡町	9.7	大平町	8.7	壬生町	6.5	岩舟町	9.1
	藤岡町	5.8	岩舟町	4.7	葛生町	6.3	壬生町	7.0	藤岡町	5.0	藤岡町	4.3
	葛生町	2.4	藤岡町	4.3	南河内町	1.5	岩舟町	4.5	岩舟町	3.7	葛生町	2.3
	鹿沼市	1.1	小山市	1.6	鹿沼市	1.2	藤岡町	4.1	葛生町	2.2	鹿沼市	1.8
			国分寺町	1.5	国分寺町	1.0	国分寺町	1.6				
			葛生町	1.4			葛生町	1.1				
その他の地域 1%未満 （0%除く）	小山市	0.9	鹿沼市	0.7	石橋町	0.7	小山市	0.7	小山市	1.0	国分寺町	0.8
	国分寺町	0.8	南河内町	0.4	小山市	0.5	南河内町	0.5	鹿沼市	0.8	南河内町	0.7
	南河内町	0.5	上三川町	0.3	塩谷町	0.4	鹿沼市	0.4	国分寺町	0.6	田沼町	0.6
	田沼町	0.3	塩谷町	0.2	田沼町	0.1	石橋町	0.3	南河内町	0.5	小山市	0.5
	塩谷町	0.2	佐野市	0.1	上三川町	0.0	上三川町	0.3	石橋町	0.3	上三川町	0.4
	上三川町	0.2	石橋町	0.1	宇都宮市	0.0	佐野市	0.1	塩谷町	0.3	佐野市	0.3
	石橋町	0.2	宇都宮市	0.1			宇都宮市	0.0	佐野市	0.1	宇都宮市	0.1
	佐野市	0.1	足利市	0.0					上三川町	0.1		
	烏山町	0.1							宇都宮市	0.0		
	宇都宮市	0.0										
	真岡市	0.0										
	足利市	0.0										
地元購買人口(人)		60,448		67,249		65,679		66,938		74,330		58,518
吸収人口(人)		32,713		22,803		46,590		23,415		27,247		38,873
総購買人口(人)		93,161		90,052		112,269		90,353		101,577		97,391

図表：栃木市の商品別商圈等（2）

⑥ファッション衣料 （外出着）		⑦装飾品 （時計、アクセサリー）・ 靴・カバン		⑧書籍・文具		⑨スポーツ用品・ 玩具・CD/DVD		⑩贈答品		⑪～⑬合計		⑭外食	
市町村	地元 購買率 又は 吸収率	市町村	地元 購買率 又は 吸収率	市町村	地元 購買率 又は 吸収率	市町村	地元 購買率 又は 吸収率	市町村	地元 購買率 又は 吸収率	市町村	地元 購買率 又は 吸収率	市町村	地元 購買率 又は 吸収率
栃木市	50.2	栃木市	52.3	栃木市	91.3	栃木市	60.2	栃木市	74.1	栃木市	75.1	栃木市	79.6
都賀町	54.4	都賀町	56.2	都賀町	86.6	西方町	56.3	都賀町	67.5	都賀町	69.4	都賀町	68.7
西方町	42.7	西方町	40.7	西方町	75.1	都賀町	52.7	西方町	55.8	西方町	51.8	西方町	58.2
大平町	32.7	大平町	30.1					大平町	36.8			大平町	38.9
栗野町	21.6	栗野町	21.4	栗野町	26.1			栗野町	23.4	大平町	23.8		
										栗野町	21.5		
岩舟町	10.9	壬生町	10.6	大平町	18.7	大平町	14.9	壬生町	15.5	壬生町	10.8	栗野町	17.2
						栗野町	12.3					壬生町	15.0
						藤岡町	10.2					岩舟町	12.4
						岩舟町	10.1						
壬生町	9.4	岩舟町	8.8	壬生町	8.9	壬生町	8.5	藤岡町	6.7	岩舟町	8.3	藤岡町	8.6
藤岡町	3.6	藤岡町	3.8	藤岡町	5.9			岩舟町	4.6	藤岡町	5.5	葛生町	3.5
葛生町	2.5	葛生町	2.5	岩舟町	5.8			葛生町	3.2	葛生町	2.3	鹿沼市	1.8
鹿沼市	1.8	鹿沼市	1.7	小山市	2.3					鹿沼市	1.1	小山市	1.1
				葛生町	1.9								
田沼町	0.7	国分寺町	1.0	鹿沼市	0.8	鹿沼市	0.7	鹿沼市	1.0	小山市	0.9	国分寺町	1.0
小山市	0.6	田沼町	0.8	国分寺町	0.4	国分寺町	0.6	小山市	0.8	国分寺町	0.8	田沼町	1.0
上三川町	0.4	小山市	0.6	塩谷町	0.3	小山市	0.4	佐野市	0.5	南河内町	0.5	塩谷町	0.9
国分寺町	0.3	南河内町	0.4	田沼町	0.2	田沼町	0.4	烏山町	0.4	田沼町	0.3	南河内町	0.7
佐野市	0.3	真岡市	0.1	上三川町	0.2	塩谷町	0.3	国分寺町	0.2	上三川町	0.2	烏山町	0.7
南河内町	0.3	石橋町	0.1	南河内町	0.2	真岡市	0.1	真岡市	0.1	石橋町	0.2	上三川町	0.3
烏山町	0.1	上三川町	0.1	烏山町	0.1	上三川町	0.1	南河内町	0.1	塩谷町	0.1	石橋町	0.2
真岡市	0.1	宇都宮市	0.0	石橋町	0.1	宇都宮市	0.1	宇都宮市	0.1	佐野市	0.1	佐野市	0.1
宇都宮市	0.1			宇都宮市	0.0			石橋町	0.1	烏山町	0.1	足利市	0.1
										真岡市	0.0	宇都宮市	0.1
										宇都宮市	0.0	真岡市	0.0
										足利市	0.0		
	40,187		41,915		73,094		48,212		59,328		60,127		63,742
	32,089		31,097		34,950		25,158		37,456		31,914		40,945
	72,276		73,012		108,044		73,370		96,784		92,041		104,687

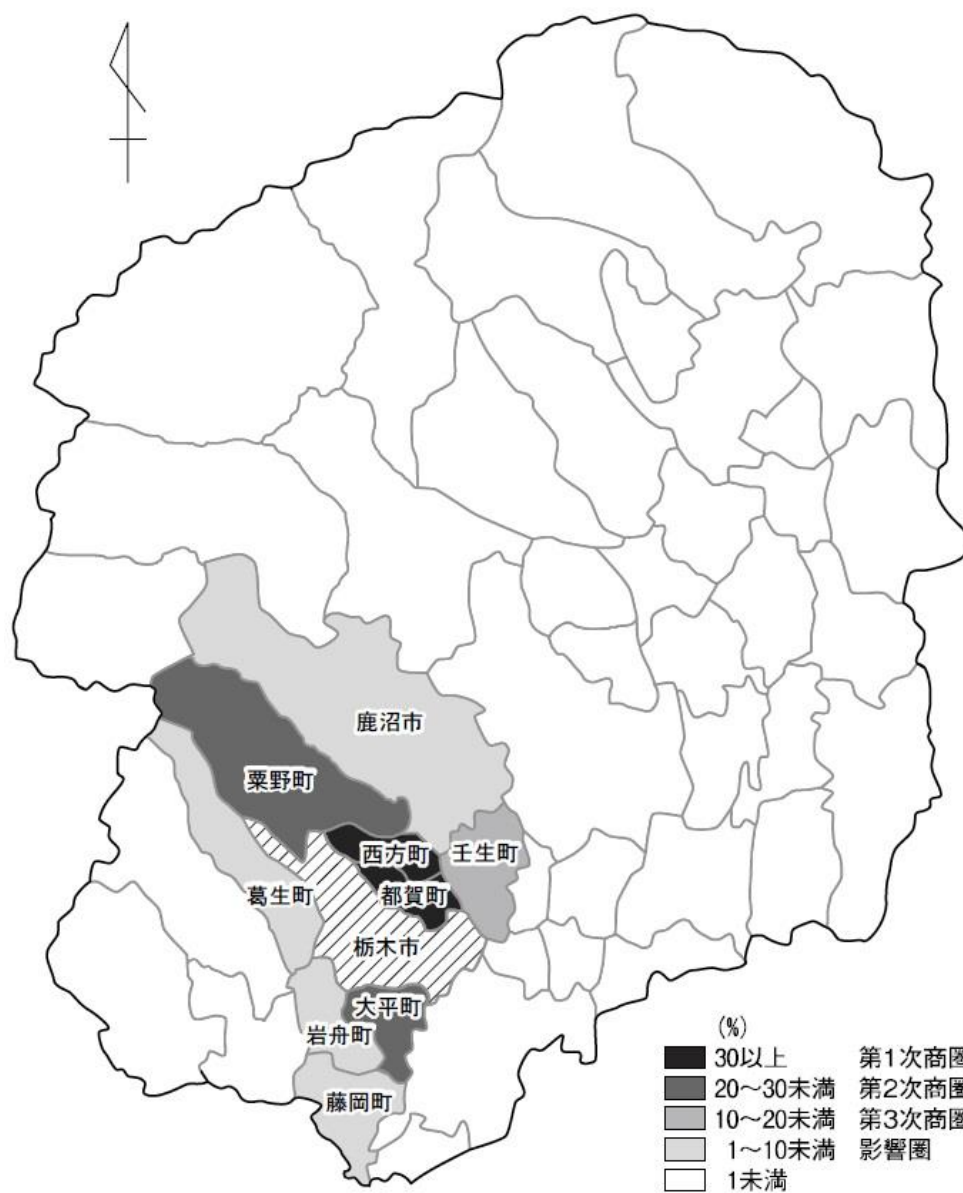
出典：栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」

（4-6）大型店と商圈の関係

前回調査後 5 年間に 4 件の大型店の届出があった。店舗形態別にみると、「専門チェーン店（ドラッグストア）」が 2 件、「専門チェーン店（リサイクル）」、「スーパー」が各 1 件となっている。

(4-7) 栃木市の商圈

図表：栃木市の商圈地図

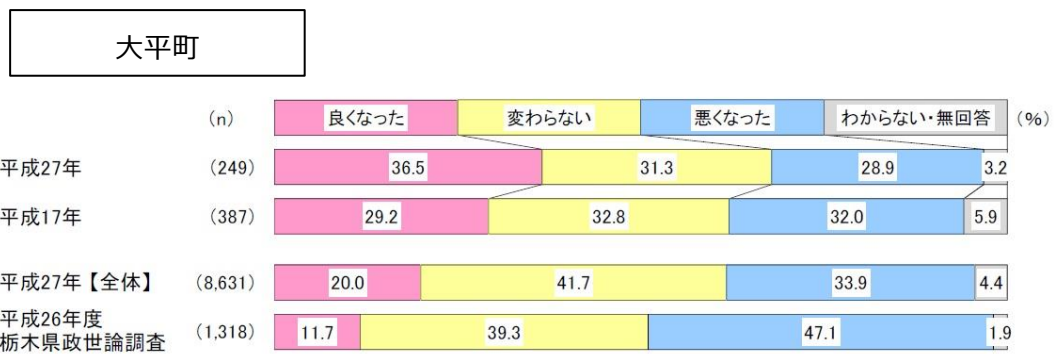
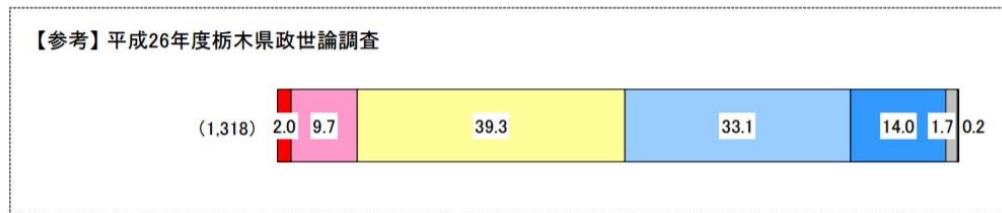


Ⅱ．需要動向

1．栃木県商工会連合会による「地域生活者アンケート」の結果

(1-1) ライフスタイル・暮らし向きの変化

図表：ライフスタイル・暮らし向きの変化に関するアンケート結果



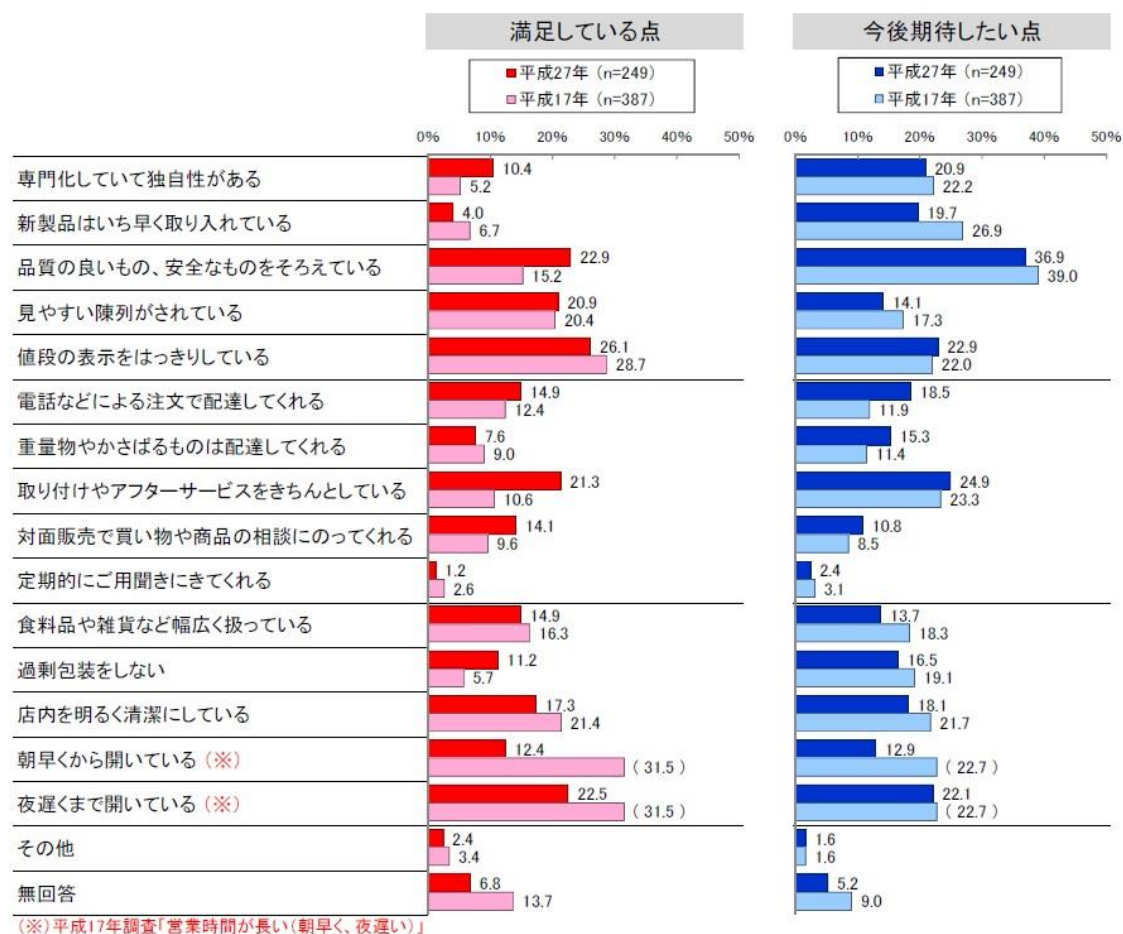
出典：栃木県商工会連合会「地域生活者アンケート調査」

平成17年と比較して「良くなった」が7.3ポイント増加。全体と比較しても大幅に良い傾向がみられ、「悪くなった」も減少している。

大型店の出店効果が大きく、景況感に変化を感じられた結果といえる。

(1-2) 地域商店への満足度

図表：大平町の地域商店に満足している点／今後期待したい点



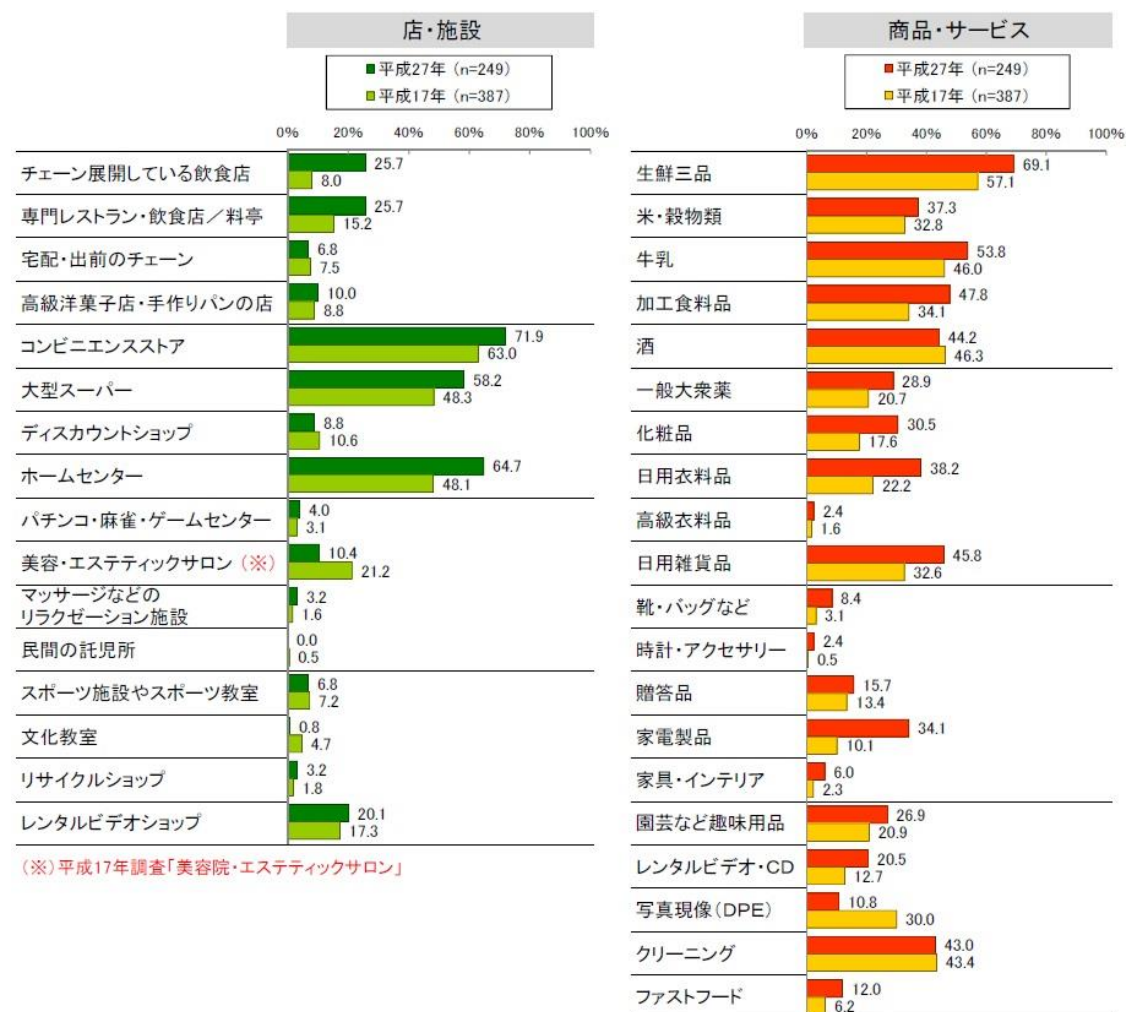
出典：栃木県商工会連合会「地域生活者アンケート調査」

■ 地域商店に満足している点／期待したい点

平成 17 年と比較して、満足している点は「取り付けやアフターサービスがきちんとしている」が 10.7 ポイント、「品質の良いもの、安全なものをそろえている」が 7.7 ポイント上昇。際立って下降した項目はみられない。今後期待したい点は「電話などによる注文で配達してくれる」が 6.6 ポイント上昇し、「新製品はいち早く取り入れている」が 7.2 ポイント下降。

(1-3) 地域でよく利用する店・サービス

図表：大平町の居住地域でよく利用している店・施設／商品・サービス



出典：栃木県商工会連合会「地域生活者アンケート調査」

居住地域でよく利用している店・施設／商品・サービス店・施設では、「チェーン展開している飲食店」が17.7ポイント、「ホームセンター」が16.6ポイント上昇し、「美容・エステティックサロン」が10.8ポイント下降。商品・サービスでは、「家電製品」が24.0ポイント、「日用衣料品」が16.0ポイント、「加工食料品」が13.7ポイント上昇し、「写真現像 (D P E)」が19.2ポイント下降。

Ⅲ. 大平町地域の買い物について

1. 大型店出口調査

(1) 調査の概要

調査目的

大平町商工会では、大平町地域商業の活性化に向けて購買動向を調査するために大型スーパー 3 店舗にて消費者アンケート調査を行った。

調査期間

平成 28 年 11 月 12 日（土）～13 日（日）

調査方法

調査対象：大型スーパー 3 店舗（ヨークベニマル・ベイシア・とりせん）の買い物客

調査方法：商工会委託事業者が店頭にて聞き取りを行い、アンケート用紙へ記入

調査結果の表記について

集計結果は、各設問の標本数を 100%とした百分比（%）で表し、小数点第 2 位を四捨五入している。

集計数

400 件（内、有効回答数 376 件）

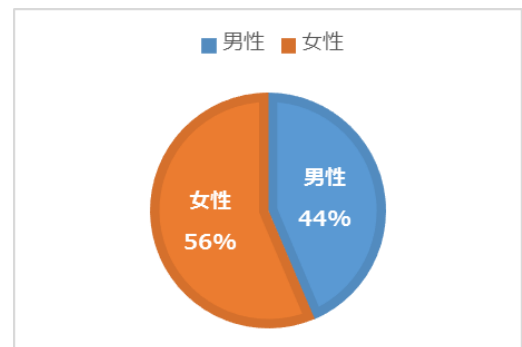
(2) アンケート集計結果

○性別

回答者は女性が 56.4%と男性を上回った。

週末の買い物でも主婦層が目立っていた。

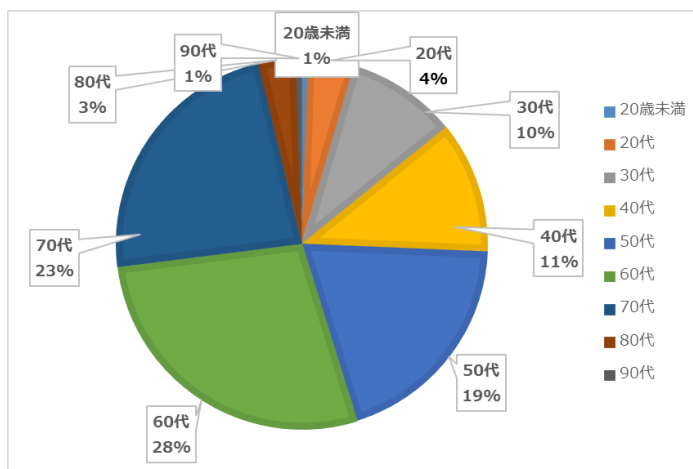
分類	回答数	割合
男性	164	43.6%
女性	212	56.4%
計	376	100.0%



○年代（未回答 2 件）

回答者の年代は 60 代と 70 代でおよそ半数を占め、高齢者の来客が多い。

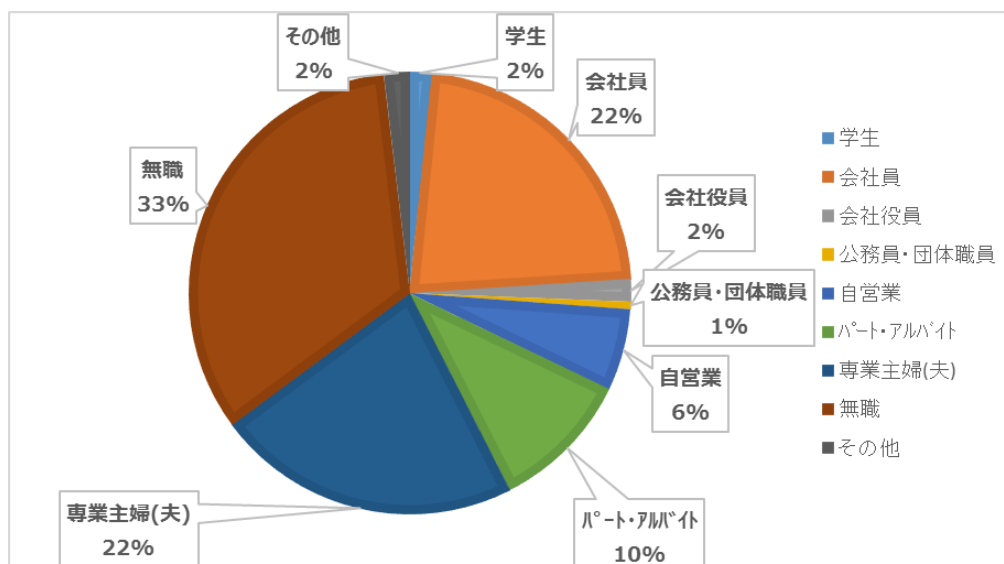
分類	回答数	割合
20歳未満	2	0.5%
20代	15	4.0%
30代	36	9.6%
40代	43	11.5%
50代	73	19.5%
60代	104	27.8%
70代	87	23.3%
80代	12	3.2%
90代	2	0.5%
計	374	100.0%



○職業（未回答 9 件）

回答者の職業で最も多いのが無職、次いで会社員と専業主婦(夫)が同率となっている。

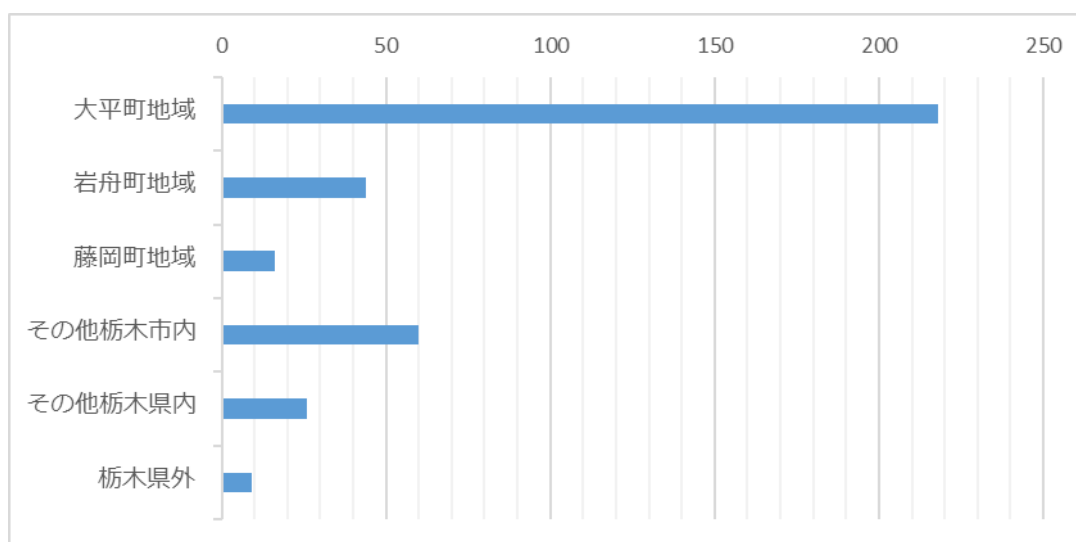
職業	回答数	割合
学生	6	1.6%
会社員	82	22.3%
会社役員	6	1.6%
公務員・団体職員	2	0.5%
自営業	22	6.0%
パート・アルバイト	38	10.4%
専業主婦(夫)	82	22.3%
無職	122	33.2%
その他	7	1.9%
計	367	100.0%



○居住地区（未回答 3 件）

大平町地域からの来客が 58.4%と半数以上を占める。近隣の岩舟町・藤岡町地域の合計は 16.1%で、それ以外の栃木市内からの来客と同等である。

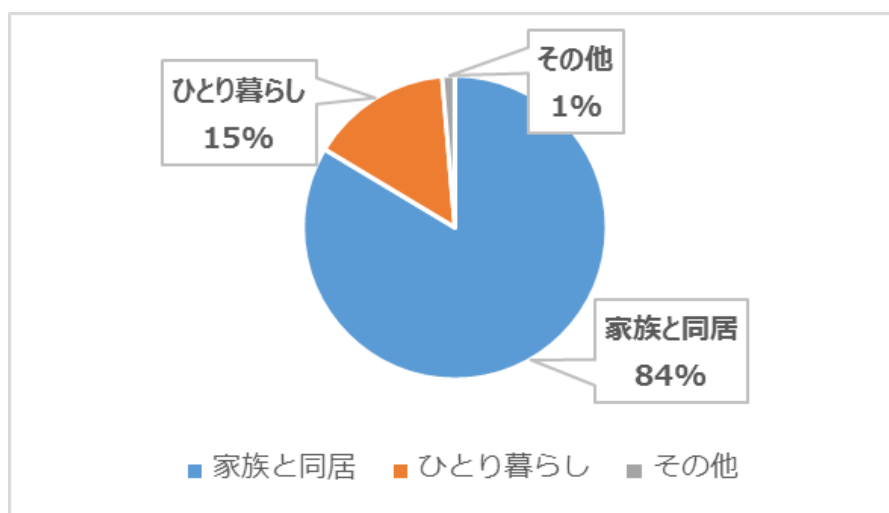
分類	回答数	割合
大平町地域	218	58.4%
岩舟町地域	44	11.8%
藤岡町地域	16	4.3%
その他栃木市内	60	16.1%
その他栃木県内	26	7.0%
栃木県外	9	2.4%
計	373	100.0%



○世帯構成（未回答 4 件）

回答者のほとんどが家族と同居している。

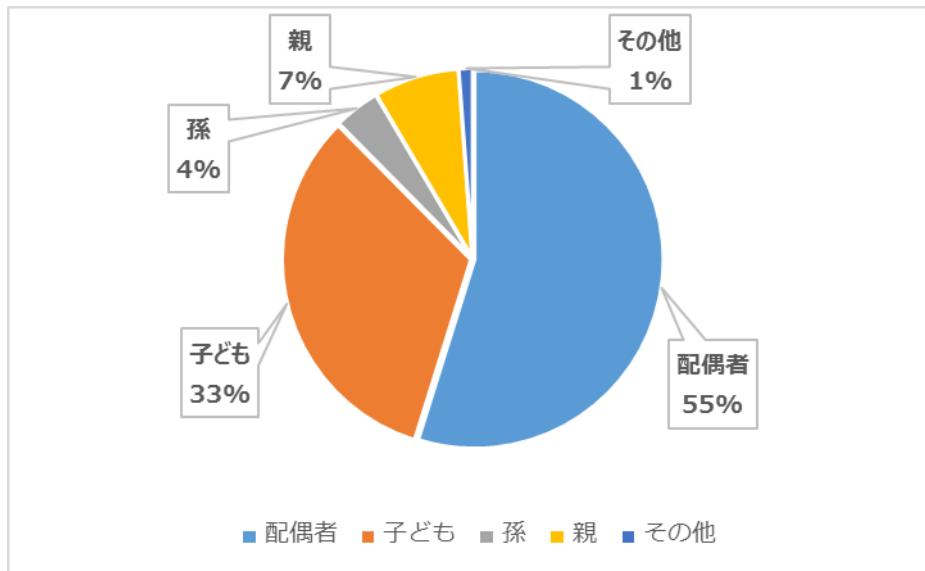
分類	回答数	割合
家族と同居	311	83.6%
ひとり暮らし	56	15.1%
その他	5	1.3%
計	372	100.0%



○同居家族

半数が配偶者と暮らしており、3 割が子どもと暮らしている。回答者に高齢層が多いためか、親と暮らしているという回答は少ない。

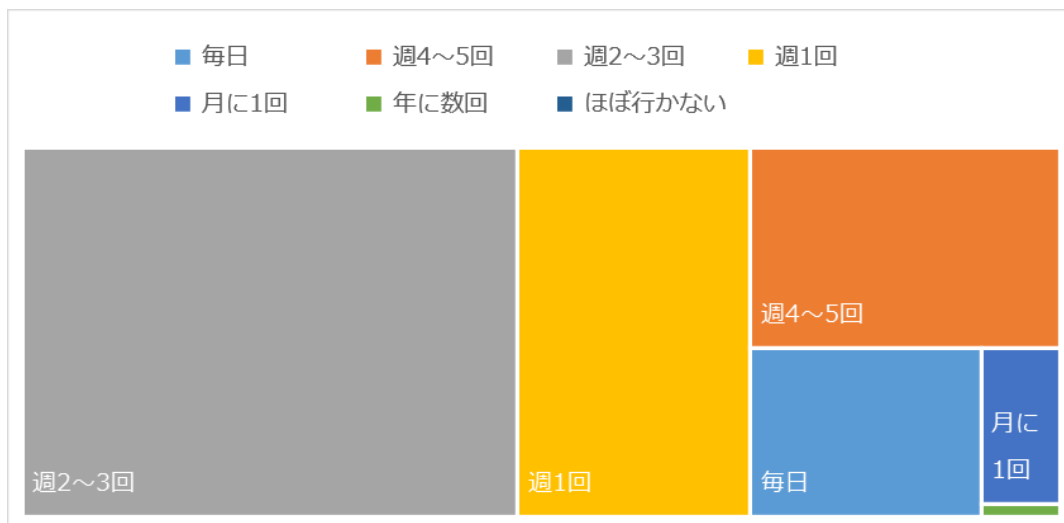
分類	回答数	割合
配偶者	278	54.8%
子ども	166	32.7%
孫	20	3.9%
親	37	7.3%
その他	6	1.2%
計	507	100.0%



Q1.買い物の頻度は？

(1) 大型スーパー（未回答 1 件）

大型スーパー	回答数	割合
毎日	38	10.1%
週4～5回	61	16.3%
週2～3回	179	47.7%
週1回	84	22.4%
月に1回	12	3.2%
年に数回	1	0.3%
ほぼ行かない	0	0.0%
計	375	100.0%



大型スーパーへは週に 2～3 回買い物に行くという回答者が多く、次いで週 1 回となっている。週 1 回という回答者の多くは会社員であった。

(2) 個人店（未回答 5 件）

個人店	回答数	割合
毎日	4	1.1%
週4～5回	3	0.8%
週2～3回	6	1.6%
週1回	16	4.3%
月に1回	9	2.4%
年に数回	10	2.7%
ほぼ行かない	323	87.1%
計	371	100.0%



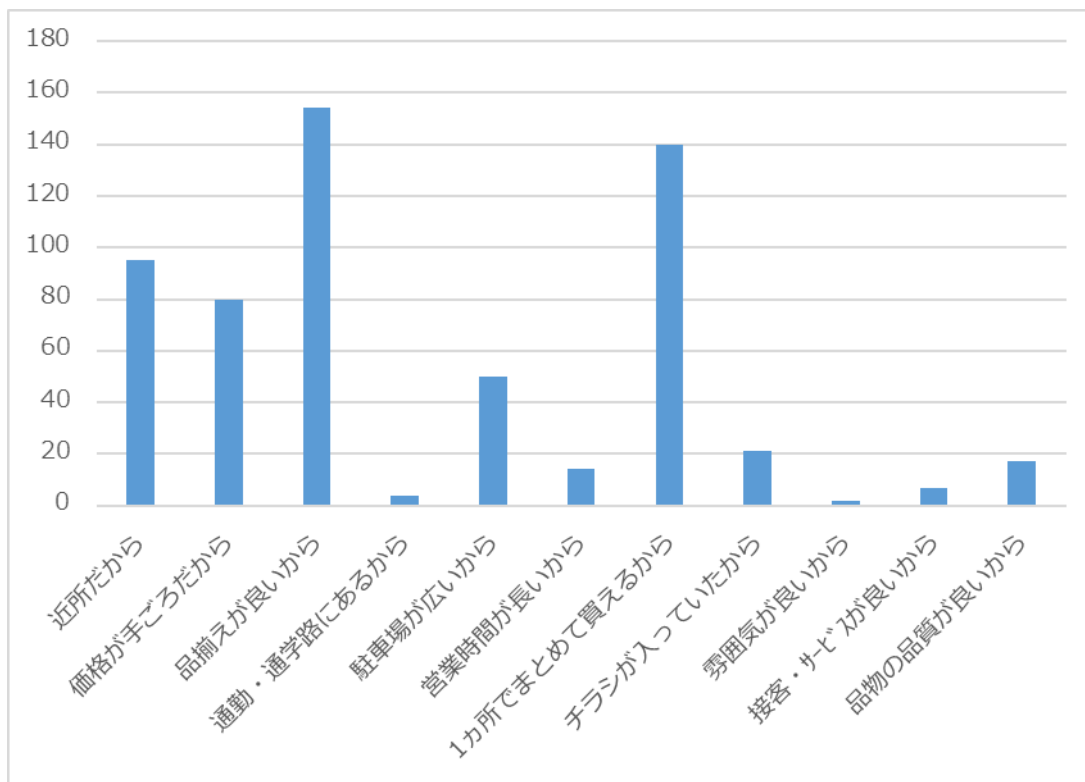
大型スーパーに関する回答で「ほぼ行かない」が0であったのに対し、個人店では 87.1%が「ほぼ行かない」状況となっている。個人店は多くて週に 1 回の買い物である。

頻度にはバラつきがあるが、個人店へ行くと回答したのは合計で 48 件。

Q2.大型店を利用する理由は？

品揃えの良さ、1 箇所ですべて買えるというのはほぼ同義であることから、雰囲気や接客サービス、品質よりも利便性を重視することが読み取れる。

分類	回答数	割合
近所だから	95	16.3%
価格が手ごろだから	80	13.7%
品揃えが良いから	154	26.4%
通勤・通学路にあるから	4	0.7%
駐車場が広いから	50	8.6%
営業時間が長いから	14	2.4%
1カ所でまとめて買えるから	140	24.0%
チラシが入っていたから	21	3.6%
雰囲気が良いから	2	0.3%
接客・サービスが良いから	7	1.2%
品物の品質が良いから	17	2.9%
計	584	100.0%



Q3.大平町地域でよく利用する個人店は？

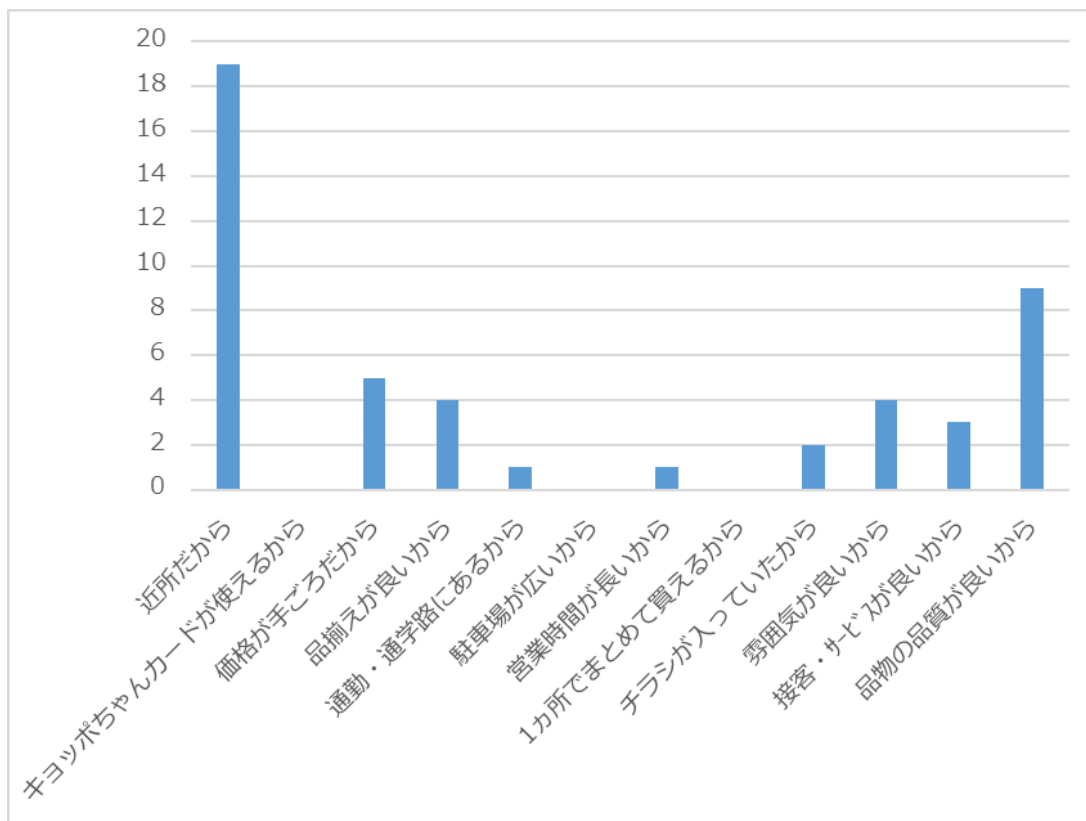
ルミア	プラッツ	道の駅
化粧品店	タキザワ（肉）	ヤオキ
パティ	川田精肉店	ケーキ屋
魚太	佐山	うおしん
オオタヤ	せいかどう	かわいクリーニング
鶴見豆腐店	焼き鳥屋	

※聞き取り内容をそのまま記載

Q4.Q3 の個人店を利用する理由は？

近所であること、品質の高さを求める消費者は個人店を利用する傾向にある。今回の調査においては「キョッポちゃんカード」の利用可否に関する回答は得られなかった。

分類	回答数	割合
近所だから	19	39.6%
キョッポちゃんカードが使えるから	0	0.0%
価格が手ごろだから	5	10.4%
品揃えが良いから	4	8.3%
通勤・通学路にあるから	1	2.1%
駐車場が広いから	0	0.0%
営業時間が長いから	1	2.1%
1カ所でまとめて買えるから	0	0.0%
チラシが入っていたから	2	4.2%
雰囲気が良いから	4	8.3%
接客・サービスが良いから	3	6.3%
品物の品質が良いから	9	18.8%
計	48	100.0%

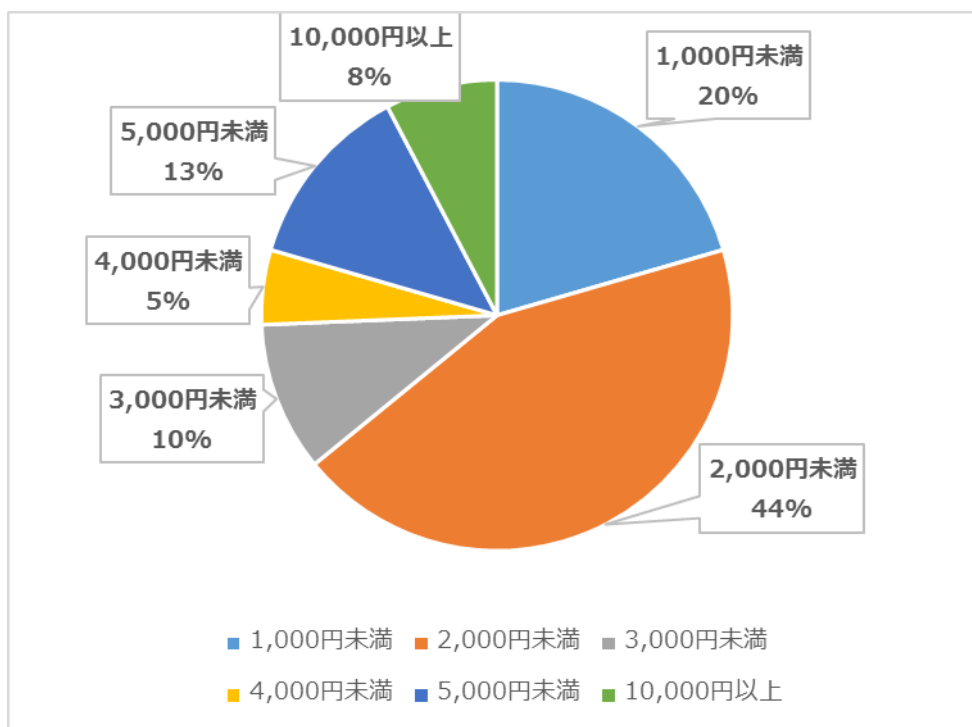


Q5.Q3 の個人店での一回の購入平均金額は？

(個人店利用者 48 件のうち回答数 39 件)

2,000 円未満の利用が大半を占めているが、10,000 円以上の高額利用も 7.7%ある。

分類	回答数	割合
1,000円未満	8	20.5%
2,000円未満	17	43.6%
3,000円未満	4	10.3%
4,000円未満	2	5.1%
5,000円未満	5	12.8%
6,000円未満	0	0.0%
7,000円未満	0	0.0%
8,000円未満	0	0.0%
9,000円未満	0	0.0%
10,000円以上	3	7.7%
計	39	100.0%



Q6.Q3 の個人店でよく利用するサービス、購入する品物は？

雑貨	カツ	魚
饅頭	薬剤	ケーキ
おでん	煎餅	コロッケ
果物	洋服	野菜
豆腐	唐揚げ	総菜
ピザ	日用雑貨	衣料
揚げ物	みかん	パン
肉	きのこ	焼き鳥
刺身	キムチ	化粧品

※聞き取り内容をそのまま記載

Q7.Q3 の個人店で取り扱って欲しい商品は？

花	自転車	薬
---	-----	---

※聞き取り内容をそのまま記載

※その他の回答は、出店して欲しい店舗を回答したため無効

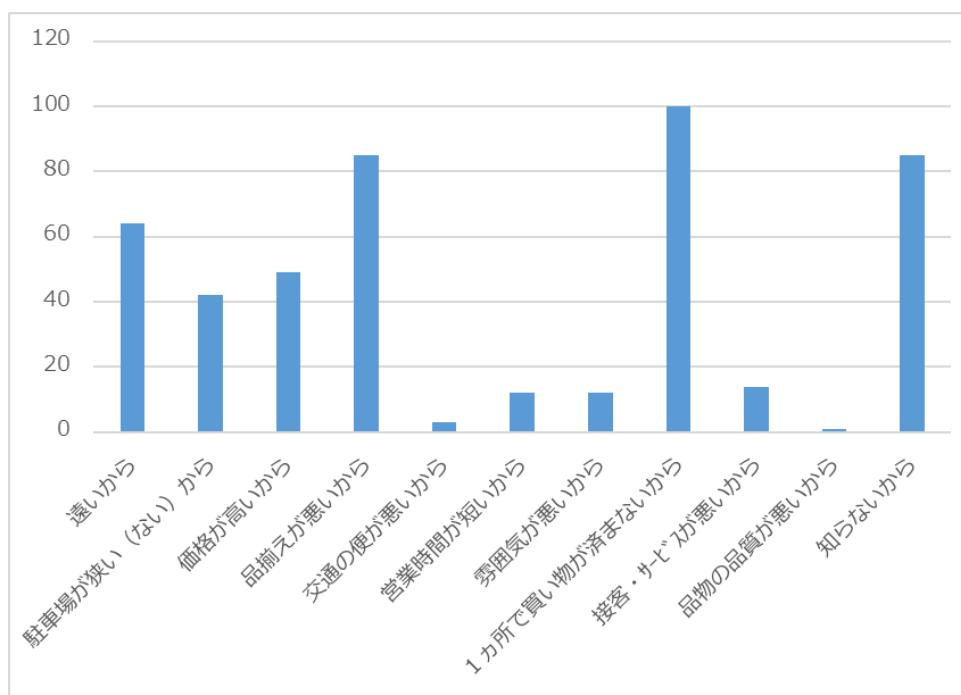
Q8.個人店を利用しない理由は？

「一カ所で買い物が済まない」という理由が 21.4%、「品揃えが悪い」が 18.2%と多くを占め、大型スーパーの利便性を重視しそちらに流出していることがわかる。一方、「知らないから」という理由が同じく 18.2%を占め、個人店の PR 不足を露呈している。

「遠いから」という意見も 13.7%あるが、大型店と比較して距離的に遠いとは言い難いため物理的な距離というより心理的な距離を感じている可能性がある。

「接客・サービスが悪いから」は割合では少ないが件数として 14 件と、営業時間や雰囲気に関する意見を超えている。大型店との差別化が図りやすい項目のため、接客面の見直しを図る必要がある。

分類	回答数	割合
遠いから	64	13.7%
駐車場が狭い（ない）から	42	9.0%
価格が高いから	49	10.5%
品揃えが悪いから	85	18.2%
交通の便が悪いから	3	0.6%
営業時間が短いから	12	2.6%
雰囲気が悪いから	12	2.6%
1カ所で買い物が済まないから	100	21.4%
接客・サービスが悪いから	14	3.0%
品物の品質が悪いから	1	0.2%
知らないから	85	18.2%
計	467	100.0%



2. アンケート項目

大平町商工会大型店舗用店頭アンケート							
性別	☐ 男性 ☐ 女性						
年代	☐ 20歳未満 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代 ☐ 80代 ☐ 90代						
職業	☐ 学生 ☐ 会社員 ☐ 会社役員 ☐ 公務員・団体職員 ☐ 自営業 ☐ パート・アルバイト ☐ 専業主婦(夫) ☐ 無職 ☐ その他						
居住地区	☐ 栃木市大平町地域 ☐ 栃木市岩舟町地域 ☐ 栃木市藤岡町地域 ☐ その他栃木市内 ☐ その他栃木県内 ☐ 栃木県外（ 県）						
世帯構成	☐ 家族と同居 ☐ ひとり暮らし ☐ その他						
同居家族	☐ 配偶者 ☐ 子ども ☐ 孫 ☐ 親 ☐ その他 （複数回答可）						
Q1.お買い物するのはどれくらいの頻度ですか？大型スーパー・個店それぞれに☐をつけてください							
種別	毎日	週4～5回	週2～3回	週1回	月に1回	年に数回	ほぼ行かない
大型スーパー	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
個店	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐ →Q8へ
Q2.大型店を利用する理由は何ですか？（複数回答可）							
☐ 近所だから ☐ 価格が手ごろだから ☐ 品揃えが良いから ☐ 通勤・通学路にあるから ☐ 駐車場が広いから ☐ 営業時間が長いから ☐ 1カ所でまとめて買えるから ☐ チラシが入っていたから ☐ 雰囲気が良いから ☐ 接客・サービスが良いから ☐ 品物の品質が良いから							
Q3.大型スーパー以外でよく利用する大平町地域の個店があればお聞かせください（自由回答）							
☐ 大平町地域の個店にはほぼ行かない →Q8へ							
Q4.Q3のお店をよく利用する理由は何ですか？（複数回答可）							
☐ 近所だから ☐ キョッポちゃんカードが使えるから ☐ 価格が手ごろだから ☐ 品揃えが良いから ☐ 通勤・通学路にあるから ☐ 駐車場が広いから ☐ 営業時間が長いから ☐ 1カ所でまとめて買えるから ☐ チラシが入っていたから ☐ 雰囲気が良いから ☐ 接客・サービスが良いから ☐ 品物の品質が良いから							
Q5.Q3のお店での一回の購入金額平均はどのくらいですか？（単一回答）							
☐ 1,000円未満 ☐ 2,000円未満 ☐ 3,000円未満 ☐ 4,000円未満 ☐ 5,000円未満 ☐ 6,000円未満 ☐ 7,000円未満 ☐ 8,000円未満 ☐ 9,000円未満 ☐ 10,000円以上							
Q6.Q3のお店でよく購入するもの・利用するサービスは何ですか？自由にご記入ください							
Q7.大平町地区の個店にて取り扱って欲しい商品があれば自由にご記入ください							
Q8.個店を利用しない理由は何ですか？あてはまるものに☐をつけてください（複数回答可）							
☐ 遠いから ☐ 駐車場が狭い(ない)から ☐ 価格が高いから ☐ 品揃えが悪いから ☐ 交通の便が悪いから ☐ 営業時間が短いから ☐ 雰囲気が悪いから ☐ 一箇所で買い物が済まないから ☐ 接客・サービスが悪いから ☐ 品物の品質が悪いから ☐ 知らないから							

ご協力ありがとうございました

まとめ

- 大平町の地元購買率は 2004 年以降、県内でも高い水準で推移している。環状道路の拡張や、それに伴う大型店舗の出店が地元購買率上昇の要因と考えられる。
- 衣料・装飾品・外食については地元購買率が低く、地域店の伸び悩みが懸念される。
- 暮らし向きの満足度は、栃木県全体と比較しても倍近くが「良くなった」と答えており、大平町は生活者の満足度が高い地域と言える。
- 大型店買い物の殆どは、地域個人店を利用しないことが顕著に表れている。
- 栃木県による調査と大型スーパー店頭調査での回答には大きく乖離があり（値段や品質）、本事業において今後は地域個人店での消費者アンケートを実施するなど現況をさらに把握する必要がある。
- 当商工会としては、地域個人店の PR 活動を本事業でリニューアルしたウェブサイト等で広めるとともに、事業拡大や新商品の開発などを視野に経営計画を策定しバックアップを図る。

【作成／監修】

株式会社 U I 志援コンサルティング

〒329-2711

栃木県那須塩原市石林 317 番地 9 BSP ビル 2F

中小企業診断士 東 健司